

令和9（2027）年度

学生募集要項

学校推薦型選抜

共創学部・文学部・歯学部・
工学部（融合基礎工学科・機械工学科・量子物理工学科）・
芸術工学部（インダストリアルデザインコース・未来構想デザインコース）



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

目 次

学校推薦型選抜の募集人員	1
学校推薦型選抜入試日程等	2
アドミッション・ポリシー，出願資格，募集人員，提出が必要な書類，入学者選抜方法	
共創学部	3
文学部	10
歯学部	15
工学部（融合基礎工学科 物質材料コース）	19
工学部（融合基礎工学科 機械電気コース）	23
工学部（機械工学科）（女子枠）	27
工学部（量子物理工学科）（女子枠）	31
芸術工学部芸術工学科（インダストリアルデザインコース）	35
芸術工学部芸術工学科（未来構想デザインコース）	40
各学部（学科）共通事項等	
1. 出願手続	45
2. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法	47
3. 受験票の印刷について	48
4. 入学検定料の返還について	49
5. 入学検定料の免除について	49
6. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について	49
7. 大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続	51
8. 合格者発表	52
9. 入学手続	52
10. 不正行為等の取扱い	53
11. 試験成績の開示	55
12. 個人用PC（ノート型）の必携について	55
13. 個人情報の取扱い	56
14. 修学場所について	57
入試実施場所の案内	58
入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト	59
九州大学総合型選抜，学校推薦型選抜及び国際入試実施状況（令和 8（2026）年度）	60
添 付 書 類	
提出書類（推薦書，志望理由書等）	

学校推薦型選抜の募集人員

選抜区分	学部・学科（専攻・コース）
【学校推薦型選抜】 大学入学共通テスト を課す学校推薦型選抜	共創学部（１５人）
	文学部（１０人）
	歯学部（８人）
	工学部 融合基礎工学科 物質材料コース（３人） 融合基礎工学科 機械電気コース（３人）
	工学部 女子枠 機械工学科（７人）＊ 量子物理工学科（３人）＊
	芸術工学部芸術工学科 インダストリアルデザインコース（８人） 未来構想デザインコース（５人）

＊「女子枠」は戸籍上の性別が「女性」である者が出願可能な募集枠を示します。

学校推薦型選抜 入試日程等

	共創学部	文学部	歯学部	工学部 融合基礎工学科 機械工学科 量子物理工学科	芸術工学部 インダストリアル デザインコース 未来構想 デザインコース
願 書 受 付	令和8(2026)年11月2日(月)～11月6日(金)17時まで(必着) ※Web入力及び入学検定料の支払は10月26日(月)10時から可能です。				
第 1 次 選 抜	11月中旬～12月中旬				
第 1 次選抜結果の通知	12月21日(月)頃				
受 験 票 印 刷 開 始 (インターネット出願画面より)	12月24日(木)頃				
大学入学共通テスト 成績請求情報の提供手続	令和9(2027)年1月4日(月)～1月20日(水)				
第 2 次 選 抜	1月30日(土)				
合 格 者 発 表	2月10日(水)11時頃				
合 格 通 知 書 及 び 入 学 手 続 書 類 発 送	2月10日(水)				
入 学 手 続	2月11日(木)13時～2月17日(水)17時まで (所定の期間内に「入学料の納付」、「Web入学手続」及び「入学手続書類の郵送」 を全て完了させてください。詳細は、52ページ「9.入学手続(1)入学手続方法」を参照 してください。)				

共 創 学 部

1. アドミッション・ポリシー

※注意

アドミッション・ポリシーとは、大学、学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果を示すものです。

1. 求める学生像

国立大学法人九州大学では、本学教育憲章の理念と目的を達成するために、高等学校等における基礎的教科・科目の普遍的履修を基盤とし、大学における総合的な教養教育や専門基礎教育を受け、自ら学ぶ姿勢を身に付け、さらに進んで自ら問いを立て、創造的・批判的に吟味・検討し、他者と協働し、幅広い視野で問題解決にあたる力を持つアクティブ・ラーナーへと成長する学生を求めている。

共創学部では次の資質や能力、態度をもった学生を国内外から積極的に受け入れる。

「主体的学習態度」：課題の検討や課題の将来的な解決に必要な様々な学知や技能を主体的に探究し、身に付けようとする態度を持っている。

「協働への強い意欲」：背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている。

「批判的思考力」：既存の学知や自らの考えを常に批判的に検討し、その誤りを修正し、より良いものへと改善していこうとする思考態度を持っている。

「国際的視野」：世界の様々な人とともにより良い未来を築くことと、そのために必要となる語学力を磨くことに対する強い意欲を持っている。

2. 求める学生像と学力3要素との関係

①知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に国際社会で生じている出来事に対する強い関心と、世界を舞台に活動することに対する強い意欲、および、これらを実現するために必要となる語学力。

②思考力・判断力・表現力等の能力：物事を多角的・批判的に考え、自らの考えを自分の言葉で人に伝える資質。常に自らを省み、失敗や間違いを認め、そこから学ぼうとする意欲。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性、他者から進んで学ぼうとする態度。世界が直面している様々な課題の将来的な解決に向けて、背景や考え方の異なる様々な人々と進んで協働する姿勢。

3. 入学者選抜方法との関係

共創学部では「知識を問う入試から能力を見極める入試への転換」を掲げ、志願者の能力を複数の観点から見極めるために、次に挙げる4つの方針に基づいて入学者選抜を実施する。

(1) 4 種類の選抜試験

共創学部が求める学生像の観点から、志願者の能力や態度等を見極めるために、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「国際型入試」の4種類の選抜試験を実施する。また、それぞれの入試類型の中でも複数の観点を組み合わせ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する。

(2) 文理共通問題

一学部一学科の学部として、文理共通の試験問題を課す（留学生に対する試験を除く）。理系クラスで学んできた志願者も、文系クラスで学んできた志願者もどちらも解答可能な問題を用意し、いずれかが不利になることのないよう配慮する。

(3) 志望理由書

すべての入試類型で「志望理由書」の提出を求め、学部への理解や適性などを確認する。

(4) 障害等のある者に対する合理的配慮

共創学部の受験にあたり、受験上の配慮や支援を必要とする場合、入学後に配慮や支援を必要とする場合の事前相談を受け付け、合理的配慮を検討する。

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	調査書 活動歴報告書 小論文	志望理由書 小論文 討論 面接	調査書 志望理由書 活動歴報告書 討論 面接
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 活動歴報告書 大学入学共通テスト	推薦書 志望理由書 活動歴報告書 プレゼンテーション 面接	推薦書 調査書 志望理由書 プレゼンテーション 面接
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	志望理由書 個別学力検査 小論文	調査書 志望理由書 小論文
国際型入試	個別学力検査または 日本留学試験等	個別学力検査または 日本留学試験等 志望理由書 面接	志望理由書 面接

本学部への入学を希望する者は、アドミッション・ポリシーをよく読み、本学部の理念と教育内容をしっかりと理解した上で応募していただくことが望まれます。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8(2026)年4月から令和9(2027)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和8(2026)年4月から令和9(2027)年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和8(2026)年4月から令和9(2027)年3月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 共創学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 共創学部が指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係(TEL092-802-2006)にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目は、「国語」、「数学Ⅰ」、数学A、「数学Ⅱ」、数学B、数学C、「外国語(英語(リスニングを含む))」、「情報Ⅰ」です。
- (2) 出願書類は、高等学校等の長の責任のもと、提出してください。
- (3) 本学の他学部で実施される総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)、学校推薦型選抜、及び国際入試との併願は認めません。
- (4) 同じ年度に行われる本学部の総合型選抜と学校推薦型選抜の併願は認めません。
- (5) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課するか否かに関わらず。)へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。
- (6) 本学部の学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般選抜及び本学部の国際型入試に出願することができます。別途出願手続を行ってください。

3. 募集人員

15人(入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。)

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に記入し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 活動歴報告書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆で作成したものを提出してください。

なお、活動の成果物、表彰、資格、検定などに関する資料を添付する際は、「活動歴報告書」添付資料に関する注意事項に記載の注意事項をよく読み、その指示に従ってください。

エ. 志望理由書

本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、これまでの経験や将来展望等を踏まえ、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で記入したものを提出してください

* 上記の提出が必要な出願書類等のうち、推薦書、活動歴報告書及び志望理由書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

* 必ず**令和 9 (2027) 年度**の様式を使用してください。

* ウ. 活動歴報告書及びエ. 志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

* ウ. 活動歴報告書及びエ. 志望理由書は「片面印刷」にて出力してください。

* 提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 希望者のみが提出する出願書類等

大学入学共通テストの「英語」については、英語能力試験の成績の提出を認め、提出された成績を下の「みなし基準表」にしたがって換算し、大学入学共通テスト「英語」の得点として利用します。これは、希望者に対してのみ実施されるものです。

利用できる英語能力試験は次の 6 つです。

- ① 実用英語技能検定（英検）
- ② TOEFL iBT
- ③ IELTS（アカデミック・モジュール）

- ④ GTEC ※OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限る
- ⑤ TEAP (4 技能)
- ⑥ ケンブリッジ英語検定 (リンガスキルは除く)

英語能力試験の利用を希望する者は、成績表（原本）一つを出願時に提出する必要があります。（自宅で受験するタイプの英語能力試験の成績の提出は認めません。また、IELTS の One Skill Retake の提出は認めません。）提出された成績に対して、下の「みなし基準表」に従って、「みなし得点」が与えられます。提出できる英語能力試験の成績は、換算対象となる大学入学共通テストの実施日からさかのぼって過去2年以内に受験したものとします。また、大学入学共通テスト「英語」を受験することを必須とします。

※TOEFL iBT のスコアを提出する場合は、本学への直送手続（ETS アカウント（My TOEFL Home から九州大学の DI コード「0411」を選択）を行ってください。

【みなし基準表】

みなし得点	*下記の英語能力試験でそれぞれの基準点以上の場合、右の数値と大学入学共通テスト「英語」の実際の得点との平均点を大学入学共通テスト「英語」の得点とみなします。	200 点
みなし基準	英検	準一級以上取得
	TOEFL iBT	72 (2026/1/20以前受験) 4 (2026/1/21以降受験)
	IELTS (アカデミック・モジュール)	5.5
	GTEC	1190
	TEAP (4 技能)	309
	ケンブリッジ英語検定 (リンガスキルは除く)	160

なお、英語能力試験の成績表（原本）は、九州大学学務部入試課で確認後返却しますので、返送先の住所・氏名を記入し、簡易書留郵便の郵送にかかる金額分の切手を貼った返信用封筒を同封の上、提出してください。普通郵便の郵送にかかる金額分の切手の貼付しかない場合、普通郵便で返却しますが、追跡等ができませんので、簡易書留郵便を推奨します。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

- ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。
- イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の2.5倍程度を上限とします。
- ウ. 第1次選抜の結果については、令和8(2026)年12月21日(月)頃に通知書を郵便で発送します。
- エ. 第1次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票(共創学部)をインターネット出願画面よりダウンロードし、第2次選抜試験時に持参してください。

(2) 第2次選抜

ア. 第1次選抜の合格者に対して、プレゼンテーション及び面接（1人約30分）を課し、大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。プレゼンテーション及び面接は対面で行います。

プレゼンテーションは、第1次選抜で提出した活動歴報告書と志望理由書に沿って、「これまでの学び」と「これからの学び」について5分程度で述べてください。A4サイズ1ページでプレゼンテーションの概要を示した資料（PC等での作成可）を試験当日に面接官への配付用に3部提出してください。発表で使用可能な言語は日本語または英語とします。言語選択による有利不利（加点や減点）はありません。

プレゼンテーションの後、25分程度の面接を主に日本語で行います。ただし、質疑応答の一部は英語で行います。面接では、プレゼンテーションおよび第1次選抜で提出した書類についての質疑応答を行います。

イ. 指定した英語能力試験の成績（原本とする。写し不可。）を提出した者については、所定の基準に基づく得点と大学入学共通テスト「英語」の実際の得点との平均点を大学入学共通テストの得点とみなします。（大学入学共通テスト「英語」の受験は必須）

（注意）英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。

実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）、TEAP（4技能）、ケンブリッジ英語検定（リンガスキルは除く）

※自宅で受験するタイプの英語能力試験の成績の提出は認めません。また、IELTSのOne Skill Retakeの提出は認めません。

【実施日時及び場所】

集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は学校推薦型選抜受験票（共創学部）、大学入学共通テスト受験票、第1次選抜合格通知書、筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル）及びプレゼンテーションの概要を示した資料を持参の上、指定された時刻・場所に集合してください。

なお、試験室内に持ち込みができるものは、受験者用の「プレゼンテーションの概要を示した資料（A4判の紙（片面のみ使用可）1枚）」のみであり、メモ等の書き込みや付箋の貼り付け等は不可とします。

月日	時間	場所
1月30日（土）	プレゼンテーション及び面接 9:00～17:30（予定）	九州大学伊都キャンパス センター5号館

※各受験者の集合時刻等は第1次選抜合格通知の際に指定します。

（注意）

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた集合時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者（又は係員）にその旨申し出てください。

(3) 可否判定の基準

ア．第 1 次選抜では，調査書又は調査書に代わる書類，活動歴報告書及び志望理由書を 300 点満点で評価し，各評価と提出された推薦書を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

イ．第 2 次選抜では，令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績を 170 点満点で，プレゼンテーション及び面接（個人面接）を 100 点満点で評価し，第 1 次選抜の評価と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

・ 大学入学共通テストの配点

国 語	数 学	外 国 語（英語）	情 報	合 計
50 点	50 点	50 点	20 点	170 点

- 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 50 点満点に換算します。ただし，大学入学共通テストにおいて，リスニングを免除された重度難聴者については，リーディングの成績のみを利用します。

ウ．大学入学共通テストの得点において，大学入試センターが公表する当該年度の段階表示換算表の第 4 段階の最低点（点数範囲の下限）より低い得点の科目がある場合には，総合的に判断の上，不合格とすることがあります。

文 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

九州大学文学部人文学科では、自ら問題を見出し、筋道を立てて思考し、正確に表現できる学生の育成を目指しています。そのためには、自ら調査、読書をし、他の人々と対話しつつ自らの考えを発展させていく姿勢が大切です。それゆえ、文学部で学ぼうとする学生には、何よりも次の三つの資質を備えていることが望まれます。

1. 言葉への強い興味、とりわけ、文学作品や古典に対する感受性
2. 人間への飽くなき好奇心と、「私とは何か？」という真摯な問いかけ
3. 文化・歴史・社会といった、世界の多様性への開かれた関心

さらに、国際コースの学生には、特に次のような資質を備えていることが望まれます。

1. 日本語と、複数の外国語への強い興味、ならびに文学や思想に対する感受性
2. 世界の多様な文化・歴史・社会への開かれた関心
3. 将来国際人として活躍することへの意欲

◆求める学生像と学力3要素との関連

1. 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能
2. 思考力・判断力・表現力等の能力：自らが行う研究で問題を発見し、仮説を構築するとともに、多面的に考え、客観的に批判して自身の仮説を鍛え、それを自分の言葉で人に伝える資質
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：人間や言葉への広い関心から主体的に学ぶ意欲、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性

◆入学者選抜方法との関係

本学文学部では、次の4種類の入試を実施しています。国際コース以外の学生のプログラムでは、これらのうち、「一般選抜（前期）」「一般選抜（後期）」及び「学校推薦型選抜」を課します。また、国際コースの学生のプログラムでは、「総合型選抜」を課します。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 小論文	小論文	調査書 小論文
総合型選抜 （国際コース）	調査書 大学入学共通テスト	英語小論文	調査書、志望理由書 英語による個人面接

学校推薦型選抜	推薦書，調査書 大学入学共通テスト	推薦書，志望理由書 (研究計画書)，面接	推薦書，調査書， 志望理由書（研究計画書），面接
---------	----------------------	-------------------------	-----------------------------

本学部への入学を希望する者は、アドミッション・ポリシーをよく読み、本学部の理念と教育内容をしっかりと理解した上で応募していただくことが望まれます。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8（2026）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込の者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和8（2026）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和8（2026）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 文学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
- (2) 以下の入学者選抜基本方針にて求める学生像に一致し、大学院進学を見据えて文学部で学ぶ強い志がある者
(入学者選抜基本方針)
 - ・文学部は高等学校の教育課程を尊重し、受験生の基本的知識，論理的思考力，表現能力を重視しています。
 - ・学校推薦型選抜においては、高等学校で身に付けた基礎学力に加え、本学に入学してからの明確な目標と強い学修意欲を持っている人を求めます。
- (3) 文学部が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、入学することを確約する者

(注意)

- (1) 本学部の学校推薦型選抜に出願する場合でも、本学部を含む九州大学の学部及び他の国公立大学・学部の一般選抜に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。
- (2) 本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、本学部の総合型選抜との併願はできません。
- (3) 九州大学の他学部で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）及び国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (4) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課すか否かに関わらず。）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

3. 募集人員

10人（入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。）

4. 提出が必要な書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 志望理由書（研究計画書）

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆で作成したものを提出してください。

*上記の提出が必要な書類等のうち、推薦書及び志望理由書（研究計画書）は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

*必ず令和 9（2027）年度の様式を使用してください。

*提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書（研究計画書）の総合評価により選抜を行います。

イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度を上限とします。

ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第 1 次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（文学部）をインターネット出願画面よりダウンロードし、第 2 次選抜試験時に持参してください。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、面接及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

①令和9(2027)年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。

②令和9(2027)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目(6教科又は7教科・8科目)

国語(国語)

地歴及び公民((地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済)から2)

数学(数学Ⅰ, 数学A)と(数学Ⅱ, 数学B, 数学C)

理科(物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎)

外国語(英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)

情報(情報Ⅰ)

(注)第1解答科目として『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(4つの出題範囲から2つを選択回答)を選択してください。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を第2解答科目で受験した場合、その得点は0点として取り扱います。

第1解答科目として『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択しない場合は、『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2科目を選択してください。この場合、合計得点(200点満点)を100点満点に換算します。

イ. 面接

①面接の内容

面接は、個人面接とし、1人10分程度行います。

②実施日時及び場所

集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は学校推薦型選抜受験票(文学部), 大学入学共通テスト受験票, 第1次選抜合格通知書を持参の上, 指定された時刻・場所に集合してください。

月日	時間	場所
1月30日(土)	10:00~16:00(予定)	九州大学伊都キャンパス イーストゾーン

(注意)

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者にその旨申し出てください。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜では、提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書（研究計画書）を5段階で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

イ. 第2次選抜では、面接を50点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

・ 大学入学共通テストの配点

国語	地歴及び公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
200	200	200	100	200	50	950

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。
- ・ 大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。

歯 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

歯学部では、多方面にわたる学力に優れていることに加え、九州大学教育憲章に基づき、秀でた人間性、社会性、国際性を有し、医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観を有し、チーム医療や課題探求型チーム学修のチームの一員として協調性の高い行動をとり、自律的な学究を指向する人材を求めている。

◆求める学生像と学力3要素との関連

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。基幹教育科目、ならびに歯学部専攻科目を修学するために必要な理科系、文科系の多方面にわたる十分な基礎知識。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。チーム医療や課題探求型チーム学修のチームの一員として行動するための協調性を裏打ちするコミュニケーション能力。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：「口腔から全身の健康に貢献する」ことへの関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観。自らを向上させるため、常に自律的な学究を指向する意欲。医療人に必要な人間性、社会性、国際性を磨くために努力を惜しまない姿勢。

◆入学者選抜方法

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個人面接	個人面接
総合型選抜	大学入学共通テスト	講義に対するレポート グループ面接	調査書 グループ面接
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	個人面接	調査書 志望理由書 個人面接

2. 出願資格

高等学校若しくは中等教育学校を令和 8（2026）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1 校につき 2 人としてします。

○推薦要件

- (1) 歯学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 歯学部が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目は、「5. 入学者選抜方法（2）第 2 次選抜」に記載のとおりです。
- (2) 出願書類は、高等学校等の長の責任のもと、提出してください。
- (3) 本学部の学校推薦型選抜に出願する場合でも、本学部の一般選抜に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。
- (4) 本学部の学校推薦型選抜に出願した場合、本学部の総合型選抜との併願はできません。
- (5) 九州大学の他学部で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (6) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課するか否かに関わらず。）へ出願することができるのは、1 つの大学・学部のみです。
- (7) 本学部の学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

8 人（入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。）

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または

PC等で作成，厳封したものを提出してください。

イ．調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し，厳封したものを提出してください。なお，調査書を提出できない者については，事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ．志望理由書

志願者本人が，本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に，自筆で作成したものを提出してください。

＊上記の提出が必要な出願書類等のうち，推薦書及び志望理由書は，本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

＊必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。

＊提出された書類の返却には応じませんので，ご注意ください。

5．入学者選抜方法

入学者の選抜は，第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア．提出された推薦書，調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ．第 1 次選抜の合格者は，募集人員の 3 倍程度を上限とします。

ウ．第 1 次選抜の結果については，令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ．第 1 次選抜の合格者は，学校推薦型選抜受験票（歯学部）をインターネット出願画面よりダウンロードし，第 2 次選抜試験時に持参してください。

(2) 第 2 次選抜

第 1 次選抜の合格者に対し，面接及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績により選抜を行います。

ア．大学入学共通テスト

①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については，大学入学共通テスト受験案内を参照してください。

②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目）

国 語 （国語）

地歴及び公民 （（地理総合，地理探究），（歴史総合，日本史探究），（歴史総合，世界史探究），（公共，倫理），（公共，政治・経済）から 1）

地理歴史及び公民の科目において，複数科目受験した場合の取扱いについては，受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学 （数学Ⅰ，数学 A）と（数学Ⅱ，数学 B，数学 C）

理 科 （物理，化学，生物から 2）

外 国 語 （英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から 1）

情 報 （情報Ⅰ）

イ. 面接

①面接の内容

面接は、個人面接のみとし、1 人 30 分程度行います。

歯科医療に対する意識や意欲、自己表現力、柔軟性、社会的関心、価値観の多様性などを評価します。

②実施日時及び場所

集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は学校推薦型選抜受験票（歯学部）、大学入学共通テスト受験票、第1次選抜合格通知書を持参の上、指定された時刻・場所に集合してください。

月日	時間	場所
1 月 30 日（土）	9：00～13：00（予定）	歯学部B棟（実習棟）1階 講義室A・B

（注意）

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者にその旨申し出てください。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜では、調査書又は調査書に代わる書類（40点満点）、志望理由書（60点満点）で評価し、各評価と提出された推薦書を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

イ. 第2次選抜では、面接（個人面接）を200点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績575点満点と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

- 大学入学共通テストの配点

国語	地歴及び公民	数学	理科	外国語	情報	合計
100点	50点	100点	100点	200点	25点	575点

- 英語はリスニングの成績も利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

工学部 融合基礎工学科 物質材料コース

1. アドミッション・ポリシー

工学部では、高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、融合基礎工学科物質材料コースにおいて次のような人材（アドミッション・ポリシー）を求めています。

基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者。特に、持続可能な社会の実現に資する物質・材料開発に興味をもち、高い倫理観とグローバルな視点を併せ持つ者を求めます。

◆ 入学者選抜方法との関係（融合基礎工学科 物質材料コース）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜Ⅱ （一般枠・女子枠）	調査書 大学入学共通テスト	面接 課題探求試験	調査書 志望理由書 面接
次世代研究者発掘 入試Ⅰ	調査書	活動歴報告書・研究計画書 プレゼンテーション・口頭試問	調査書 志望理由書
次世代研究者発掘 入試Ⅱ	調査書 大学入学共通テスト	面接 課題探求試験 活動歴報告書・研究計画書 プレゼンテーション・口頭試問	調査書 志望理由書 面接
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト	推薦書 志望理由書 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接

【学校推薦型選抜において求める学生像】

基礎学力を十分に備え、数学や理科を中心とした科学的知識を活用して物事を論理的に考察できる者。環境・エネルギー問題をはじめとする複雑で多様な社会課題に強い関心を持ち、異なる分野の知識を融合して新たな価値を創造しようとする意欲と探究心を有することが望まれる。また、自ら課題を発見し主体的に学び続ける姿勢を持ち、他者と協働しながら課題解決に取り組むことのできる人材を求める。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学省大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 工学部及び融合基礎工学科が掲げるアドミッション・ポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、人物および学業に優れ、物質材料コースで学ぶ強い意志がある者
- (2) 高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (3) 工学部及び融合基礎工学科が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課するか否かに関わらず。）へ出願できるのは、1 つの大学・学部（学科・専攻・コース等）のみです。
- (2) この選抜に出願した場合、本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）・国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で融合基礎工学科物質材料コースが含まれるⅡ群に出願しなければならないなどの制限はありません）。

3. 募集人員

3 人（入学手続きが募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。）

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 志望理由書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆で作成したものを提出してください。

*上記の提出が必要な出願書類のうち、推薦書及び志望理由書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

*志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

*必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度を上限とします。

ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第 1 次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（工学部）をインターネット出願画面より印刷し、第 2 次選抜試験時に提示してください。

(2) 第 2 次選抜

第 1 次選抜の合格者に対して、面接を課し、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び調査書又は調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

- ・令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、独立行政法人大学入試センターの受験案内を参照してください。
- ・令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（6 教科 8 科目）

国 語 (国語)

地歴及び公民 ((地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済) から 1)

地理歴史及び公民の科目において, 複数科目受験した場合の取扱いについては, 受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学 (数学 I, 数学 A) と (数学 II, 数学 B, 数学 C)

理 科 (物理, 化学)

外 国 語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1)

ただし, 英語はリスニングを含みます。

情 報 (情報 I)

イ. 面接

面接は, 個人面接とし, 1 人 15 分程度行います。

調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし, 3 人程度の審査員により志望動機, 入学後の抱負, 将来の目標に関する質問を行い, 融合基礎工学科 (物質材料コース) で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。また, 試問により工学全般を学ぶための基礎学力の有無を確認します。環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑なグローバルな課題の解決に強い関心を持ち, 関連する学問を学ぶ熱意および適性・能力を評価します。

【実施日時及び場所】

月 日	時間	場所
1 月 30 日 (土)	9 : 00 ~ 18 : 00 (予定)	オンライン方式により実施

(注意)

遅刻による試験室への入室限度時刻は, 予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。

(3) 合否判定の基準

ア. 第 1 次選抜では, 調査書又は調査書に代わる書類 (50 点満点) 及び志望理由書 (50 点満点) を評価し, 各評価と提出された推薦書の内容に基づいて 3 段階 (A B C) で総合的に評価します。

イ. 第 2 次選抜では, 面接 (100 点満点) で評価し, 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの成績 (200 点満点) と合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

なお, 「面接」と「大学入学共通テスト (各科目・教科)」の各得点のいずれかにおいて, 本コースでの修学に支障があると判断される場合, 不合格となることがあります。

・ 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
100 点	50 点	200 点	200 点	100 点	70 点	720 点

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては, リーディング (100 点満点) とリスニング (100 点満点) の合計点を 100 点満点に換算します。ただし, 大学入学共通テストにおいて, リスニングを免除された重度難聴者については, リーディングの成績のみを利用します。

- ・ 大学入学共通テストの成績は, 合計点を 200 点満点に換算します。

工学部 融合基礎工学科 機械電気コース

1. アドミッション・ポリシー

工学部では、高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、融合基礎工学科機械電気コースにおいて次のような人材(アドミッション・ポリシー)を求めています。

基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者。特に、数学、物理などの自然科学や機械工学・電気電子工学分野に対する強い知的探究心を持ち自ら学ぶ意欲のある者、専門知識の融合による多角的視点から、エネルギーや環境等の社会問題の解決に意欲のある者を求めます。

◆ 入学者選抜方法との関係（融合基礎工学科 機械電気コース）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜Ⅱ (一般枠・女子枠)	調査書 大学入学共通テスト	面接	調査書 志望理由書 面接
次世代研究者発掘 入試Ⅰ	調査書	活動歴報告書・研究計画書 プレゼンテーション・口頭試問	調査書 志望理由書
次世代研究者発掘 入試Ⅱ	調査書 大学入学共通テスト	面接 活動歴報告書・研究計画書 プレゼンテーション・口頭試問	調査書 志望理由書 面接
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト	推薦書 志望理由書 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接

【学校推薦型選抜において求める学生像】

基礎学力を十分に備え、数学や理科を中心とした科学的知識を活用して物事を論理的に考察できる者。

環境・エネルギー問題をはじめとする複雑で多様な社会課題に強い関心を持ち、異なる分野の知識を融合して新たな価値を創造しようとする意欲と探究心を有することが望まれる。また、自ら課題を発見し主体的に学び続ける姿勢を持ち、他者と協働しながら課題解決に取り組むことのできる人材を求める。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7(2025)年4月から令和9(2027)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7(2025)年4月から令和9(2027)年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学省大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7(2025)年4月から令和9(2027)年3月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 工学部及び融合基礎工学科が掲げるアドミッション・ポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、人物および学業に優れ、機械電気コースで学ぶ強い意志がある者
- (2) 高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (3) 工学部及び融合基礎工学科が指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係(TEL092-802-2006)にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課するか否かに関わらず。)へ出願できるのは、1つの大学・学部(学科・専攻・コース等)のみです。
- (2) この選抜に出願した場合、本学の学部(学科・専攻・コース)で実施される総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)・国際入試(教育学部)との併願はできません。
- (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます(前期日程で融合基礎工学科機械電気コースが含まれるⅢ群に出願しなければならないなどの制限はありません)。

3. 募集人員

3人(入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。)

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載で

きない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 志望理由書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆で作成したものを提出してください。

＊上記の提出が必要な出願書類のうち、推薦書及び志望理由書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

＊志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

＊必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度を上限とします。

ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第 1 次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（工学部）をインターネット出願画面より印刷し、第 2 次選抜試験時に提示してください。

(2) 第 2 次選抜

第 1 次選抜の合格者に対して、面接を課し、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び調査書又は調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

・令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、独立行政法人大学入試センターの受験案内を参照してください。

・令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（6 教科 8 科目）

国 語 （国語）

地歴及び公民 ((地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済) から 1)

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学 (数学 I, 数学 A) と (数学 II, 数学 B, 数学 C)

理 科 (物理, 化学)

外 国 語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1)

ただし、英語はリスニングを含みます。

情 報 (情報 I)

イ. 面接

面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。

調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、5 人程度の審査員により志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科（機械電気コース）で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力の有無を確認します。環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑なグローバルな課題の解決に強い関心を持ち、関連する学問を学ぶ熱意および適性・能力を評価します。

【実施日時及び場所】

月 日	時間	場所
1 月 30 日 (土)	9 : 00 ~ 18 : 00 (予定)	オンライン方式により実施

(注意)

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。

(3) 合否判定の基準

ア. 第 1 次選抜では、調査書又は調査書に代わる書類 (50 点満点) 及び志望理由書 (50 点満点) を評価し、各評価と提出された推薦書の内容に基づいて 3 段階 (A B C) で総合的に評価します。

イ. 第 2 次選抜では、面接 (100 点満点) で評価し、令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの成績 (200 点満点) と合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

なお、「面接」と「大学入学共通テスト (各科目・教科)」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。

・ 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
100 点	50 点	200 点	200 点	100 点	70 点	720 点

- 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング (100 点満点) とリスニング (100 点満点) の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

- 大学入学共通テストの成績は、合計点を 200 点満点に換算します。

工学部 機械工学科（女子枠）

1. アドミッション・ポリシー

工学部では、高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、機械工学科では、多様性確保を目的とした取り組みの一環として「女子枠」を設け、次のような人材（アドミッション・ポリシー）を求めています。（「女子枠」は戸籍上の性別が「女性」である者が出願可能な募集枠を示します。）

機械要素、機械システムなどの人類の文明生活を支える“ものづくり”の技術が様々な学問の上に作り上げられてきたことを理解し、社会のニーズに応じて広い視野と豊かな人間性を持って活躍する技術者・研究者として成長しうる者を求めます。

◆ 入学者選抜方法との関係（機械工学科）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト	推薦書 調査書 志望理由書 面接 大学入学共通テスト	推薦書 調査書 志望理由書 面接

【学校推薦型選抜において求める学生像】

機械工学分野への強い関心を持ち、高等学校等における学習の中でも特に理数系科目に高い能力を有し、また探究活動等に主体的かつ継続的に取り組み、自ら課題を見出し解決に取り組む能力を有する、機械工学分野での活躍を志す者

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる女子とします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月以降から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者

- (3) 文部科学省大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7(2025)年4月から令和9(2027)年3月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 工学部及び機械工学科が掲げるアドミッション・ポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、人物および学業に優れ、特に理数系科目が優秀である者
- (2) 高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (3) 工学部及び機械工学科が指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係(TEL092-802-2006)にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課すか否かに関わらず。)へ出願できるのは、1つの大学・学部(学科・専攻・コース等)のみです。
- (2) この選抜に出願した場合、本学の学部(学科・専攻・コース)で実施される総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)・国際入試(教育学部)との併願はできません。
- (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます(前期日程で機械工学科が含まれるⅢ群に出願しなければならないなどの制限はありません)。

3. 募集人員

女子枠：7人(入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。)

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 志望理由書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成したものを提出してください。

※上記の提出が必要な出願書類のうち、推薦書及び志望理由書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

※志望理由書は、必ず志願者本人が自筆または PC 等にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

※必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 2 倍程度を上限とします。

ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第 1 次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（工学部）をインターネット出願画面より印刷し、第 2 次選抜試験時に持参してください。

(2) 第 2 次選抜

第 1 次選抜の合格者に対して、面接（試問を含む）を課し、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び調査書又は調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

・令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、独立行政法人大学入試センターの受験案内を参照してください。

・令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（2 教科 3 科目）

数 学 （数学Ⅰ、数学Ⅱ） と（数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ）

理 科 （物理）

理科の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を理科の得点として採用します。複数科目受験する場合は「物理」を第 1 解答科目としてください。

イ. 面接（試問を含む）

面接は、審査員 3 人程度による個人面接とし、10 分程度行います。

推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、機械工学科を志望する理由などに関する質問を行い、機械工学を学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。

【実施日時及び場所】

月日	時間	場所
1 月 30 日（土）	10:00～17:00（予定）	伊都キャンパスウエストゾーン

（注意）

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者にその旨申し出てください。

（3） 可否判定の基準

ア．第 1 次選抜では、調査書又は調査書に代わる書類を 5 段階（5～1）、志望理由書を 5 段階（5～1）で評価し、各評価と提出された推薦書を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

イ．第 2 次選抜では、面接（100 点満点）で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績（100 点満点）と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

なお、「面接」と「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となる場合があります。

・ 大学入学共通テストの配点

数 学	理 科（物理）	合 計
200 点	100 点	300 点

工学部 量子物理工学科（女子枠）

1. アドミッション・ポリシー

工学部では、高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、量子物理工学科では、多様性確保を目的とした取り組みの一環として「女子枠」を設け、次のような人材（アドミッション・ポリシー）を求めています。（「女子枠」は戸籍上の性別が「女性」である者が出願可能な募集枠を示します。）

最先端の物理学の工学への応用を目指すため、高等学校の基本科目（数学、物理、化学）を熱心に学んできたと自負し、国語、外国語、社会科学など文化諸科目の修得にも等しく情熱を有する者を求めます。

◆ 入学者選抜方法との関係（量子物理工学科）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	面接 志望理由書等	調査書 志望理由書等 面接
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト	推薦書 志望理由書等 面接	推薦書 調査書 志望理由書等 面接

【学校推薦型選抜において求める学生像】

本学科の礎となる基本科目（数学、物理、化学）に十分な学力を有するとともに、自ら課題を見つけ主体的に取り組む行動力、周囲と協働して問題解決にあたる協調力、自身の意見を論理的に伝える表現力などをもち、将来的に量子物理学に関わる科学・工学分野で活躍することに熱意を持つ者

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる女子とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者

- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学省大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 工学部及び量子物理工学科が掲げるアドミッション・ポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、人物及び学業に優れ、量子物理工学科で学ぶ強い意志がある者
- (2) 高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (3) 工学部及び量子物理工学科が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課すか否かに関わらず。）へ出願できるのは、1 つの大学・学部（学科・専攻・コース等）のみです。
- (2) この選抜に出願した場合、本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）・国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で量子物理工学科が含まれるⅢ群に出願しなければならないなどの制限はありません）。

3. 募集人員

女子枠：3 人（入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。）

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出し

てください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 志望理由書および活動実績

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成したものを提出してください。

* 上記の提出が必要な出願書類のうち、推薦書、志望理由書および活動実績は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

* 志望理由書および活動実績は、必ず志願者本人が自筆または PC 等にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

* 必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書等の総合評価により選抜を行います。

イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度を上限とします。

ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第 1 次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（工学部）をインターネット出願画面より印刷し、第 2 次選抜試験時に持参してください。

(2) 第 2 次選抜

第 1 次選抜の合格者に対して、面接を課し、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び調査書又は調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

- ・ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、独立行政法人大学入試センターの受験案内を参照してください。
- ・ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（6 教科 8 科目）

国語（国語）

地歴及び公民（（地理総合、地理探究），（歴史総合、日本史探究），（歴史総合、世界史探究），（公共、倫理），（公共、政治・経済）から 1）

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学 (数学Ⅰ, 数学A) と (数学Ⅱ, 数学B, 数学C)
 理 科 (物理, 化学)
 外 国 語 (英語) ※ただし, 英語はリスニングを含みます。
 情 報 (情報Ⅰ)

イ. 面接

面接は, 個人面接とし, 1 人 20 分程度行います。

自然科学への素養や適性, 量子物理工学を学ぶ熱意および論理的思考能力を評価します。

【実施日時及び場所】

月 日	時間	場所
1 月 30 日 (土)	9:00~12:00 (予定)	伊都キャンパスウエストゾーン

(注意)

遅刻による試験室への入室限度時刻は, 予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお, 交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは, 試験監督者にその旨申し出てください。

(3) 可否判定の基準

ア. 第 1 次選抜では, 調査書又は調査書に代わる書類を 5 段階 (5~1), 志望理由書を 5 段階 (5~1) で評価し, 各評価と提出された推薦書を合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

イ. 第 2 次選抜では, 面接 (100 点満点) で評価し, 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの成績 (100 点満点) と合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

・ 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
100 点	50 点	250 点	250 点	100 点	50 点	800 点

- 理科の配点について, 物理, 化学のうち成績の高い科目を 150 点, 低い方を 100 点とします。
- 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては, リーディング (100 点満点) とリスニング (100 点満点) の合計点を 100 点満点に換算します。ただし, 大学入学共通テストにおいて, リスニングを免除された重度難聴者については, リーディングの成績のみを利用します。
- 大学入学共通テストの成績は, 合計点を 100 点満点に換算します。

芸術工学部 インダストリアルデザインコース

1. アドミッション・ポリシー

芸術工学部では、本学部の理念である「技術の人間化」に基づき、技術を人間生活に適切に利用するための道筋を設計する「高次のデザイナー」の養成を目的とし、以下のような学生を求めている。

- ・ 芸術工学に関連する様々な専門知識を修得し、社会の課題を発見・提起できる力を修得するために必要な基礎学力、論理的な思考能力とともに、美しさ、心地よさ、文化的な深みなどを感じ取れる感性を有すること。
- ・ 広い視野に立って他者と協力しながら課題解決へ向かう力を修得するために必要な、豊かな人間性、創造性、挑戦する精神を有すること。
- ・ 課題解決のためのプロセスを明確化し、実践する力を修得するために必要な、自ら問題を設定し、積極的に解決に向かう意欲を有すること。
- ・ 自らの感性や専門的知識を有効に活用し、考えを効果的に表現・伝達する力を修得するために必要な、国際的な志向性、多様性に対する好奇心と寛容性、柔軟な思考力を有すること。

これらに加えて、各コースにおいて次のような学生を求めている。

◆ 求める学生像

1. 人間の特性と論理的にデザインを創造する幅広い専門知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
2. 人間とは何かを考え、人間の生活や社会を支える「製品」「生活環境」「サービス」「社会システム」の創造に対して強い意欲を有する。
3. 社会的視点を持って物事を考え、実践する努力を惜しまない意欲を有する。

◆ 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に上記の求める学生像1に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。特に上記の求める学生像2に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：人間とは何かを考え、人間の生活や社会を支える「製品」「生活環境」「サービス」「社会システム」を創造することへの関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。特に上記の求める学生像3に対応している。

◆ 入学選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・ 表現力等の能力	③主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書

総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト 面接	推薦書 志望理由書 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接

【学校推薦型選抜にて求める学生像】

- ・芸術工学部の理念である「技術の人間化」の実践に強い意欲があり，社会の多様な課題に対してリサーチマインドを持ち，それらの解決を人間の特性を踏まえながらインダストリアルデザインを展開できる人材になることが期待できる者。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で，下記の推薦要件を満たし，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) インダストリアルデザインコースのアドミSSION・ポリシーに加え，学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し，人物及び学業に優れる者
- (2) インダストリアルデザインコースが指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に，必ず入学することを確約する者

なお，出願資格について不明な点がある場合は，事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課するか否かに関わらず。）へ出願できるのは，1つの大学・学部（学科・専攻・コース等）のみです。
- (2) この選抜に出願した場合，インダストリアルデザインコースを含む本学で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む），国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合，その出願先は自由に選択できます（前期日程でインダストリアルデザインコースに出願しなければならない等の制限はありません）。

3. 募集人員

8人（合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。）

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 志望理由書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成したものを提出してください。

※上記の提出が必要な出願書類のうち、推薦書及び志望理由書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

※志望理由書は、必ず志願者本人が自筆または PC 等にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

※必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

ア. 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度を上限とします。

ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第 1 次選抜の合格者は、学校推薦型選抜受験票（芸術工学部）をインターネット出願画面より印刷し、第 2 次選抜試験時に持参してください。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、面接（1人約15分）を課し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

・令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、独立行政法人大学入試センターの受験案内を参照してください。

・令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）

国語（国語）

地歴及び公民（（地理総合，地理探究），（歴史総合，日本史探究），（歴史総合，世界史探究），（公共，倫理），（公共，政治・経済）から1）

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ）と（数学Ⅲ，数学Ⅳ，数学Ⅴ）

理科（物理，化学，生物，地学から2）

外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）

ただし，英語はリスニングを含みます。

情報（情報Ⅰ）

イ. 面接

面接は，個人面接とし，1人15分程度行います。調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし，審査員3人以上でインダストリアルデザインを学ぶ熱意および適性・能力を評価します。

【実施日時及び場所】

第1次選抜の合格者は学校推薦型選抜受験票（芸術工学部），第1次選抜合格通知書，筆記用具（黒鉛筆，シャープペンシル）を持参の上，指定された時刻・場所に集合してください。

月日	時間	場所
1月30日（土）	9:30～12:30頃	芸術工学部（詳細は，1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟（大橋キャンパス）に掲示します。）

（注意）

遅刻による試験室への入室限度時刻は，予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお，交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは，試験監督者にその旨申し出てください。

(3) 可否判定の基準

- ア. 第1次選抜では、提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類（100点満点）及び志望理由書（200点満点）をそれぞれ評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。
- イ. 第2次選抜では、大学入学共通テストの成績、面接（個人面接）（300点満点）をそれぞれ評価し、提出書類の内容と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

・ 大学入学共通テストの配点

国語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
100 点	100 点	100 点	100 点	100 点	50 点	550 点

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

芸術工学部 未来構想デザインコース

1. アドミッション・ポリシー

芸術工学部では、本学部の理念である「技術の人間化」に基づき、技術を人間生活に適切に利用するための道筋を設計する「高次のデザイナー」の養成を目的とし、以下のような学生を求めている。

- ・ 芸術工学に関連する様々な専門知識を修得し、社会の課題を発見・提起できる力を修得するために必要な基礎学力、論理的な思考能力とともに、美しさ、心地よさ、文化的な深みなどを感じ取れる感性を有すること。
- ・ 広い視野に立って他者と協力しながら課題解決へ向かう力を修得するために必要な、豊かな人間性、創造性、挑戦する精神を有すること。
- ・ 課題解決のためのプロセスを明確化し、実践する力を修得するために必要な、自ら問題を設定し、積極的に解決に向かう意欲を有すること。
- ・ 自らの感性や専門的知識を有効に活用し、考えを効果的に表現・伝達する力を修得するために必要な、国際的な志向性、多様性に対する好奇心と寛容性、柔軟な思考力を有すること。

これらに加えて、各コースにおいて次のような学生を求めている。

◆ 求める学生像

1. 近い将来の我々の社会のありように関心を持ち、既成概念にとらわれることなく、新たなデザインの分野の開拓や表現活動への挑戦と創造への強い意欲を有する。
2. よりよい社会を構想するために、芸術、技術、思想に関する知識と、自然や社会を数理科学的に捉える生命科学、情報科学に関する知識を修得するために必要な基礎学力を有している。
3. 社会的な課題に関心を持ち、論理的な思考力と実証的な志向性を有する。

◆ 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に上記の求める学生像の2に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。上記の求める学生像の3に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：未来を構想し、デザインを通して実現することへの関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。上記の求める学生像の1及び3に対応している。

◆ 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・ 表現力等の能力	③主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書

総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 自己活動評価書 小論文 大学入学共通テスト	推薦書 調査書 作文 自己活動評価書 小論文 面接	推薦書 調査書 作文 自己活動評価書 面接

【学校推薦型選抜にて求める学生像】

- ・ 様々な学びに主体的に取り組む中で総合的な知識や技能の習得に努めてきた者、および社会や人間や自然へ深い関心を抱き、それらの問題と向き合って、創造的、挑戦的に、未来の社会や生活を探求する姿勢を有するとともに、文章で自らの考えを表現する姿勢を有している者。
- ・ 学内外のさまざまな活動（例えば、学習・研究活動、創作活動、プロジェクト、地域・社会活動、学内活動、課外活動、学外の諸活動など）において、主導的に企画や実施を行った、あるいは特筆すべき事柄を行ったと自己評価できる者。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和 7（2025）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までに修了又は修了見込みの者

○推薦要件

- (1) 未来構想デザインコースのアドミッション・ポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、未来構想デザインコースで学ぶ強い志がある者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況がおよそ 4.0 以上の者
- (3) 未来構想デザインコースが指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL092-802-2006）にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課すか否かに関わらず。)へ出願できるのは、1つの大学・学部(学科・コース)のみです。
- (2) この選抜に出願した場合、未来構想デザインコースを含む本学で実施される総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)、国際入試(教育学部)との併願はできません。
- (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます(前期日程で未来構想デザインコースに出願しなければならない等の制限はありません)。

3. 募集人員

5人(合格者又は入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程等の人員に加えます。)

4. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 推薦書

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、厳封したものを提出してください。

イ. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

ウ. 作文

作文のテーマは、「未来構想デザインコースの学びを通して将来取り組みたいこと」です。志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成したものを提出してください。

エ. 自己活動評価書

志願者本人が、本学 Web サイト学生募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成したものを提出してください。自己活動評価書には添付書類等を任意でつけることができます。

*上記の提出が必要な出願書類のうち、推薦書、作文及び自己活動評価書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。

*作文及び自己活動評価書は、必ず志願者本人が自筆または PC 等にて作成してください。志願者以外の者(生成系 AI ツールを含む)により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

*必ず**令和 9 (2027) 年度**の様式を使用してください。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. 提出された推薦書，調査書又は調査書に代わる書類，作文及び自己活動評価書を総合的に評価して選抜します。作文のテーマは，「未来構想デザインコースの学びを通して将来取り組みたいこと」です。自己活動評価書には添付書類等を任意でつけることができます。

イ. 第1次選抜の合格者は，募集人員の3倍程度を上限とします。

ウ. 第1次選抜の結果については，令和8（2026）年12月21日（月）頃に通知書を郵便で発送します。

エ. 第1次選抜の合格者は，学校推薦型選抜受験票（芸術工学部）をインターネット出願画面より印刷し，第2次選抜試験時に持参してください。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して，小論文（120分）及び面接（1人15分程度）を課し，令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

・令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については，独立行政法人大学入試センターの受験案内を参照してください。

・令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）

国語（国語）

地理及び公民（（地理総合，地理探究），（歴史総合，日本史探究），（歴史総合，世界史探究），（公共，倫理），（公共，政治・経済）から1）

地理歴史及び公民の科目において，複数科目受験した場合の取扱いについては，受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数学（数学Ⅰ，数学A）（数学Ⅱ，数学B，数学C）

理科（物理，化学，生物，地学から2）

外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）

ただし，英語はリスニングを含みます。

情報（情報Ⅰ）

イ. 小論文

小論文では，現代社会における複層的な課題について自らの考えを論理的に述べる学力を見ます。

ウ. 面接

面接では，これまで取り組んできた活動にもとづき，社会，人間，自然に対してどのような関心を持ち，学びを通してそれを今後どのように発展させようとしているかを見ます。

【実施日時及び場所】

第1次選抜の合格者は学校推薦型選抜受験票（芸術工学部）、第1次選抜合格通知書、筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル）を持参の上、指定された時刻・場所に集合してください。

月日	時間	場所
1月30日（土）	小論文 10:00～12:00	芸術工学部（詳細は、1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟（大橋キャンパス）に掲示します。）
	面接 13:30～18:00 頃	

（注意）

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者にその旨申し出てください。

(3) 合否判定の基準

- ア．第1次選抜では、提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、作文及び自己活動評価書をそれぞれ50点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。
- イ．第2次選抜では、小論文、提出された書類に基づく面接（個人面接）をそれぞれ275点満点で評価し、大学入学共通テストの成績（550点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

・ 大学入学共通テストの配点

国語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
100 点	100 点	100 点	100 点	100 点	50 点	550 点

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

各学部（学科）共通事項等

1. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

- | | | |
|--|---|----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① インターネットにより、<u>志望情報等を入力</u>する。 ② <u>証明写真をアップロード</u>する。 ③ <u>入学検定料を支払う</u>。 ④ 推薦書等の<u>提出が必要な出願書類等を郵送</u>する。 | } | ①～④の
すべての手続を行います。 |
|--|---|----------------------|

〈 注 意 〉

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の期間内に必要な出願書類等が到着するように、**書留・速達郵便**（日本国外から出願する場合は、**EMS 等の最速の国際郵便**）で郵送する必要があります。

※ 障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）へ相談してください。

(2) 出願期間等

事 項	期 間
Web 入力及び入学検定料の支払 （注 1）	令和 8（2026）年 10 月 26 日（月）10 時から 11 月 6 日（金）17 時まで
【出願受付期間】 「提出が必要な出願書類等」の郵送 （注 2）（注 3）（注 4）	令和 8（2026）年 11 月 2 日（月）から 11 月 6 日（金）17 時まで（必着）

注意事項

- （注 1） 「Web 入力及び入学検定料の支払」期間内に入力及び支払手続を行ってください。なお、出願登録完了後は、ご自身で入力事項の変更はできません。
- （注 2） 「提出が必要な出願書類等」の郵送は郵便事情を考慮し、期間内に必着するように手続きしてください。
- （注 3） 「提出が必要な出願書類等」の提出方法は原則郵送となります。
ただし、出願期間最終日（郵送では必着できない場合）のみ、9 時から 17 時まで、九州大学学務部入試課への持参が可能です。
- （注 4） 「提出が必要な出願書類等」の受領確認は日本郵便の郵便追跡サービスサイトでご確認ください。郵便追跡サービスサイトでは書類の郵送時に郵便局から交付された「受領証」にあるお問い合わせ番号（引受番号）を利用して確認することができます。
- （注 5） 出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」は、入学手続時にも使用しますので、出願登録完了後もメモを保管してください。

(3) Web 入力の方法

必要な情報について、インターネットを利用して入力します。

インターネット出願のページへは、九州大学 Web サイトからアクセスできます。

アクセスページ

九州大学 Web サイト

トップページ > 入試・入学 > 学部入試 > インターネット出願

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/internet/>



出願登録方法は、以下のサイトにて説明していますので、出願前にご確認ください。

九州大学 インターネット出願ガイダンスサイト

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyushu-u/how/>



○インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問合せてください。

志願受付操作サポート窓口 受付期間	10月26日（月）～11月6日（金） 9時から20時まで
志願受付操作サポート窓口 連絡先	TEL 0120-752-257

(4) 入学検定料支払の方法

入学検定料：17,000 円

詳しい支払方法については、出願登録完了後の「入学検定料のお支払い」ページにより確認してください。

入学検定料の他に別途必要なサービス利用料は、志願者負担となります。

① クレジットカード 日本**国内**／**国外**で利用可能

出願登録完了後、入学検定料のお支払サイトにより、決済を完了させてください。右のクレジットカードで支払うことができます。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。
支払方法は一括払いのみです。

クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

名称
VISA
MasterCard
JCB
AMERICAN EXPRESS
Diners Club Card

② コンビニエンスストア 日本**国内**のみ利用可能

現金での支払となります。

ローソン、ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払
ファミリーマート	「マルチコピー機（旧 Fami ポート端末）」で手続後、レジにて現金で支払
デイリーヤマザキ	店頭レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払
セイコーマート	店頭レジにて現金で支払

セブン-イレブン	レジで「払込票番号」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払（※） （※）マルチコピー機は使用しません
----------	---

※ 最新情報は、インターネット出願 Web サイトで確認してください。

③ 金融機関 ATM【Pay-easy】 日本国内のみ利用可能

支払可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。

ATM で「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。



④ ネットバンキング 日本国内のみ利用可能

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、au じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続きしてください。

2. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

①提出封筒の準備

(ア) 必ず、角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A 4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。（マチ付き封筒も可）

長形 3 号封筒（横 12cm×縦 23.5cm）は使用できません。



長形 3 号封筒



角形 2 号封筒

(イ) 出願登録完了画面から（図 1）の「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、(ア)の封筒の表（宛名）面に貼付してください。

封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが、「宛名ラベル」を印刷することができない場合は、（図 2）の【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本を直接、封筒の表（宛名）面に記載してください。

書留・速達の表示も縦書き・赤字で記入（又は郵便局窓口で押印を依頼）してください。

（図 1）【封筒貼付用宛名ラベル】の印刷見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中	
書 留 ・ 速 達	出願番号 : * * * * * 入試制度 : 学校推薦型選抜 出願学部・学科等 : ○○学部
〒○○○-○○ △△県□□市◇◇町 1-2-3	
☆☆ ☆☆	

（図 2）【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中	
書 留 ・ 速 達	出願番号 : * * * * * 入試制度 : 学校推薦型選抜 出願学部・学科等 : ○○学部
志願者情報 : 〒○○○-○○○○ △△県□□市◇◇町 1-2-3	
☆☆ ☆☆	

② 提出が必要な出願書類等の封入

各学部記載の 4. **提出が必要な出願書類等**を確認し、必要に応じてクリップ留めのうえ（ホチキスやクリアファイル等は使用不可）封入してください。

③ 速達・書留（又は EMS）で送付

45 ページ記載の 1. (2) **出願期間等**の出願受付期間内に必ず到着するよう、**書留・速達**郵便で郵送してください。

日本国外からの出願の場合は、EMS (Express Mail Service) 等の最速の国際郵便で郵送してください。

※出願に関する注意事項

ア. 提出が必要な出願書類等に不備があるものは受理しません。

志願情報、出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

イ. 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却及び変更並びに住所・連絡先以外の情報の変更は認めません。

ウ. 不明な点は、出願前に九州大学学務部入試課へ相談してください。

照会先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係

T E L : 092-802-2006

3. 受験票の印刷について

- ① 学校推薦型選抜受験票は、令和 8 (2026) 年 12 月 24 日 (木) 頃インターネット出願の出願内容確認画面より印刷可能となります。受験票の印刷はパソコンから行うことを推奨します。

九州大学 出願内容確認画面

<https://exam-entry.52school.com/kyushu-u/mypage>



- ② 試験当日（令和 9 (2027) 年 1 月 30 日 (土)）は、**本学の学校推薦型選抜受験票と大学入学共通テスト受験票の両方を必ず持参してください。**

- ③ 本学の学校推薦型選抜受験票と大学入学共通テスト受験票は、入学手続及び試験成績の開示の際に必要となるので必ず保管しておいてください。

- ④ その他の注意点や試験会場の詳細については、本学 Web サイトに掲載しますので、事前に各自で必ず確認してください。なお、試験当日に監督者から注意事項の変更や追加の指示があった場合は、その指示に従ってください。

九州大学 Web サイト

トップページ > NEWS > 入試情報 > お知らせ

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admissions/search?category=1>



4. 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ① 第1次選抜（書類審査）の不合格者に対して、13,000 円を返還します。
- ② 入学検定料納付後、出願書類等を送付しなかった場合及び出願書類等を受理できなかった場合は、全額返還します。

上記①に該当する場合は、第1次選抜結果通知の際に「返還請求書」等を送付しますので、書類作成の上、令和9（2027）年1月29日（金）までに手続きを行ってください。

上記②に該当する場合は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL 092-802-2006）へお問い合わせください。

5. 入学検定料の免除について

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

ア 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨及び令和6年能登半島地震に被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

㊦ 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失等した場合

㊧ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

イ 東日本大震災において、居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ九州大学学務部入試課入試企画・広報係へE-Mailまたは電話で連絡し、該当すると判断された者は、「入学検定料免除申請書」を九州大学Webサイト（<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption>）からダウンロードのうえ、次のうちいずれかの証明書等を添えて「提出が必要な出願書類等」とともに提出してください。

なお、申請にあたっては、次の証明書が必要になります。

- ・ ①ア㊦に該当する場合 被災証明書
- ・ ①ア㊧に該当する場合 死亡又は行方不明を証明する書類
- ・ ①イに該当する場合 被災証明書

6. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けています。

日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の利用を希望する場合も、この相談の手続を行ってください。

なお、51 ページ ウ. に示すものは、この相談の手続は不要です。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、相談の内容に応じて、次の期日までに相談してください。なお、期日を過ぎてから相談が必要となった場合は、九州大学学務部入試課（092-802-2006）へ連絡してください。

① 「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合

令和8（2026）年10月9日（金）

② 上記①以外の配慮を希望する場合

令和8（2026）年10月23日（金）

※ 上記期日までに相談の無い場合や相談の内容によっては配慮が講じられない場合がありますので十分注意してください。

区 分	対象となる者	筆記試験における受験上の配慮の一例
① 視覚に関する配慮	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満、もしくは視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答 - 拡大文字問題冊子の配付 - 試験時間の延長（1.3倍） - 拡大鏡等の持参使用 - 窓側の明るい座席を指定 - 照明器具の持参使用又は試験室側での準備
② 聴覚に関する配慮	- 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 手話通訳士等の配置 - 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用
③ 肢体不自由に関する配慮	- 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障害が著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- 代筆解答 - 試験時間の延長（1.3倍） - 試験室入口までの付添者の同伴 - 介助者の配置 1階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖、特製机・椅子の持参使用又は試験場側での準備 - 試験場への乗用車での入構
④ 病弱に関する配慮	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 別室の設定
⑤ 発達障害に関する配慮	学習障害、注意欠陥・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長（1.3倍） - 拡大文字問題冊子の配付 - 注意事項等の文書による伝達 - 別室の設定
⑥ その他	①～⑤の区分以外の者で配慮（面接時等の配慮を含む）を必要とする者	- トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 等

ア. 相談の方法

「九州大学入学試験における合理的配慮に関する事前相談申請書」及び「診断書」を九州大学 Web サイト (<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/disabilities/>) からダウンロードのうえ、障害者手帳取得者は、その写しも添えて相談の申請をしてください。

診断書には、診断名、初診日付と最終診察日、具体的な症状とその経過、日常生活上特に修学上の支障の程度、試験の際に想定される問題と必要と考える支援について記載してください。

また、大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、独立行政法人大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。

イ. 連絡先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

TEL : 092-802-2006

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

ウ. 受験上の配慮を相談（申請）せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮の相談をせずに使用できます。

- ① サポーター、テーピング、包帯、湿布、ギプス、眼帯、コルセット

※試験時間中に着脱する場合は、監督者に申し出て許可を得てください。

- ② 白杖

※白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は相談の手続が必要です。

以下の③については、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

- ③ 座椅子、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む）

※病気・負傷や障害等の為に試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は、受験上の配慮の相談を申請することもできます。

※英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

7. 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続

第1次選抜の合格者には、第1次選抜結果発表時に、本学 Web サイトで、大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続についてお知らせします。

大学入学共通テストの成績請求情報提供を本学が指定する上記手続の入力を**令和9年1月4日(月)から令和9年1月20日(水)まで**に行ってください。期日までに行えない場合は、第1次選抜の合格者としての権利を失いますので、お知らせをよく確認の上、確実に手続を行ってください。

なお、大学入学共通テストの成績情報の提供方式は「WEB 方式」となりますので、大学入学共通テストの出願サイト（マイページ）で、申込番号を確認できるようにしておいてください。

（大学入学共通テストの出願サイトの利用方法は、大学入学共通テストの案内等を参照してください。）

8. 合格者発表

合格者については、**令和 9 (2027) 年 2 月 10 日 (水) 11 時頃**、受験番号を伊都キャンパスセンターゾーンビッグさんど前広場の掲示板に掲示するとともに、同日に合格通知書を出願時に入力された住所あてに郵便で発送します。

また、合格者の受験番号を同日 12 時頃九州大学合格者発表専用 Web サイト (<https://goukaku.jimu.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載します。これは、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者の発表は、前述のとおりです。



電話による可否の問い合わせには応じません。

この学校推薦型選抜では、当該学部（学科）のアドミッション・ポリシーに基づいて受験者の資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

【注意】合格発表後、SNS 等で自身の合格を公開する行為にはリスクが伴う場合があります。勧誘などで悪用される可能性があるため、充分にご注意ください。

9. 入学手続

入学手続に関する書類は、**令和 9 (2027) 年 2 月 10 日 (水) 頃**、合格者に対して発送しますが、書類の到着前でも入学手続は行えます。入学手続は、次のとおり行ってください。

(1) 入学手続方法

所定の期間内（**令和 9 (2027) 年 2 月 11 日 (木) 13 時から 2 月 17 日 (水) 17 時まで**）に「①入学料の納付」、「②Web 入学手続」及び「③入学手続書類の郵送」を全て完了させてください。なお、「③入学手続書類の郵送」については、遅延等の郵便事情を考慮の上、**令和 9 (2027) 年 2 月 11 日 (木) 13 時から 2 月 17 日 (水) 17 時まで**に**必着**するように「書留速達郵便」により郵送してください。

※入学手続は、令和 9 (2027) 年 2 月 17 日 (水) 17 時をもって締切ります。

(2) 留意事項

- ① 学校推薦型選抜の合格者が本学に入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。
- ② 学校推薦型選抜の合格者が、極めて特殊な事情により入学を辞退しようとするときは、令和 9 (2027) 年 2 月 17 日 (水) 17 時まで、当該出願者の推薦を行った出身学校長から本学総長宛その理由を付した「推薦入学辞退願（様式任意）」を提出してください。指定の日時までに入學辞退の手続を行わない場合または入学辞退が許可されない場合は、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。

（手続及び連絡先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係 TEL：092-802-2006）

※公立大学協会 Web サイト (https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050) 参照

- ③ 納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 授業料は、入学後に納付することになります。
- ⑤ Web 入学手続ログイン時に、出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」の入力が必要です。

[参考]

① 入学金及び授業料について

入学金 282,000 円 (予定) [入学手続時に納付]

授業料 (前期分) 267,900 円 [年額 535,800 円] (予定) [入学後に納付]

(注) 上記の納入金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな入学金及び授業料が適用されます。

② 入学金免除・入学金徴収猶予 (多子世帯無償化含む) について

本学では、国の「高等教育の修学支援制度 (多子世帯無償化含む)」による入学金・授業料免除制度 (以下、「新制度」という。) を実施しています。なお、新制度の応募資格外の方は「特別な事情」がある場合に限り、大学独自制度による免除・徴収猶予を実施します。

新制度は、学部生 (留学生を除く) を対象に、学生本人からの申請に基づき選考の上、日本学生支援機構の給付奨学金の支給と入学金・授業料の減免が行われます。多子世帯向けの授業料等減免のみの希望者も、給付奨学金の申請が必要です。申請者は、減免結果が出るまで入学金等が徴収猶予されます。

1. 応募資格: 日本学生支援機構の給付奨学金の申請者 (予約採用候補者、在学採用申請者)
(新制度の申請要件等の詳細は、日本学生支援機構の HP をご確認ください。)
2. 免除額: 入学金 (282,000 円)・授業料 (535,800 円) の全額、2/3 額免除、1/3 額免除
(給付奨学金の支援区分に応じて免除額が決定、多子世帯区分は全額免除)
3. 申請時期・方法 以下①②の両方の申請を完了すること。

① 【入学前・入学手続き時】本学への免除申請 (事前申請)

※免除申請希望者は入学手続き時に入学金の納付はしないでください。

② 【入学後・4 月上旬】日本学生支援機構の給付奨学金 (学費免除含む) の申請 (本申請)

②-1 高校時「予約採用」候補者: 入学後速やかに「進学届」の提出を完了。又は

②-2 予約採用候補者以外: 入学後 4 月上旬に「在学採用 (春)」の申請を完了。

4. 本学からの選考結果通知: 7 月下旬頃

※2026 年度から免除制度が改正されています。詳しくは、九州大学 Web サイト及び入学ガイドブック (2 月頃 Web サイト掲載) を参照してください。

10. 不正行為等の取扱い

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した学校推薦型選抜の成績を無効にします。この場合、既納の入学検定料は返還しません。

ア. インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、照合票に虚偽の内容があった場合や解答紙へ故意に虚偽の記入 (解答紙

に本人以外の受験番号を記入することなど。) をすること。

イ. 志願者本人が作成する書類について、志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）が作成したもの、または剽窃等を行ったものを提出すること。

ウ. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。） をすること。

エ. 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

オ. 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

カ. 解答紙を試験室から持ち出すこと。

キ. 「解答始め。」の指示前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

ク. 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。

※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります）。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（49 ページ）が必要です。）

ケ. 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

コ. 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 不正行為が合格後に判明した場合、合格を取り消します。この場合、入学検定料、入学料及び納入済みの授業料等は返還しません。

なお、当該不正行為が本学の入学者選抜の実施運営を著しく妨げたと判断した場合、警察に被害届を提出する場合があります。

③ 上記①以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①及び②と同様です。

ア. 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類（電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）、教科書、参考書、辞書類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります。（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）

イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、

試験の進行に影響を与えること。

ウ. 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。

エ. 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

カ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

1 1. 試験成績の開示

令和 9 (2027) 年度学校推薦型選抜の試験成績について、受験者本人からの請求に限り、「第 1 次選抜」及び「第 2 次選抜」の成績 (A B C 評価) を郵送により開示します。

① 申請に必要なもの

- (1) 令和 9 (2027) 年度九州大学学校推薦型選抜成績開示申請書

※申請書は、令和 9 (2027) 年 4 月下旬頃より、本学 Web サイト
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/>) からダウンロードできます。

- (2) 令和 9 (2027) 年度九州大学学校推薦型選抜の受験票

※学校推薦型選抜の受験票がない場合は、お問い合わせください。

- (3) 書留料金所定の切手を貼った返信用封筒 (長形 3 号)

※個人成績を記した書類を郵送するためのものです。必ず受験した本人宛にしてください。

② 申請に際しての注意事項

- (1) 申請は本学学務部入試課へ郵送又は本学学務部入試課窓口での申請も可能です。

申請窓口：九州大学学務部入試課

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

- (2) 申請受付期間は、土・日・祝日を除く令和 9 (2027) 年 5 月 10 日 (月) ～ 6 月 4 日 (金) です。本学窓口での申請の受付は、9 時から 17 時までです。

- (3) 申請は、必ず本人が行ってください。代理人への開示は行いません。

- (4) 郵送による申請の場合、封筒の表には「学校推薦型選抜成績開示申請」と朱書きしてください。

- (5) 学校推薦型選抜試験成績の開示は、申請受付後、3 週間以内に送付します。

窓口での申請の場合は、後日開示となります。

1 2. 個人用 P C (ノート型) の必携について

大学では、授業中に PC を使用するのはもちろん、自宅やその他の場所で PC を利用することになります。例えば、学習を進める上で必要な授業内容を記したシラバスや授業の教材、レポート課題・提出期限などの情報、また履修登録や成績の確認など、様々な情報がネットワークを經由して提供されるばかりでなく、レポート提出を PC から行う授業も多くあります。

そのため、本学では、個人用 PC (ノート型) が必携となっています。本学に入学の際は、PC を準備・購入していただくことになりますので、あらかじめお知らせします。

詳細については、今後、本学 Web サイトにてお知らせするとともに、合格者向け入学書類「入学ガイドブック」に記載します。学部・学科によって PC の推奨スペック（必要な性能）が異なりますので、各学部・学科の該当する項を必ずご確認ください。

本学の学生には「Microsoft 365」(Word, Excel, PowerPoint 等) を在学中に限り大学が無償で提供しますので、これらを個別に購入、あるいは、PC とセットで購入する必要はありません。なお、これらのソフトウェアが予め入っていても支障はありません。おって、授業で円滑に学べるように、PC の環境を整えるための PC 設定作業についての案内をします。

問い合わせ先

【個人用 PC のスペックに関すること】

学務部教務課教務・学務情報係

E-mail : gapjoho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【Microsoft 365 に関すること】

情報統括本部 情報共有基盤事業室

E-mail : ms365@iii.kyushu-u.ac.jp

1 3. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「九州大学個人情報管理規程」等学内の関係規定に基づいて取り扱います。

1. 出願時に取得した氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討や大学教育の改善及び大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）のために利用します。
3. 上記 1 及び 2 の各種業務での利用に当たっては、全部又は一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報及び試験成績の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

※本学のプライバシーポリシーについては以下の URL を参照ください。

【日本語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/website/privacypolicy>

【英語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

14. 修学場所について

1 年次は主に伊都キャンパスで基幹教育の授業を受けます。2 年次以降の各学部授業の主たる修学場所は、各学部所在地となります。

学部授業の主たる修学場所

令和 8（2026）年 7 月現在

学部（学科）	実施時期	1 年次 （令和 9（2027）年度）	2 年次 （令和 10（2028）年度）	3 年次以降 （令和 11（2029）年度～）
共創・文・教・法・経・理・ 工（融合基礎工学科を除く）・農		伊都キャンパス		
工（融合基礎工学科）		伊都キャンパス		筑紫キャンパス
医・歯・薬		伊都キャンパス※	病院キャンパス	
芸工		伊都キャンパス	大橋キャンパス	

※歯学部は、前期及び後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

※薬学部は、後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

【入試実施場所の案内】



実施学部・学科	博多駅から地下鉄利用の場合	博多駅からバス利用の場合
共創学部・文学部 1 伊都キャンパス	JR 筑肥線乗り入れ「筑前前原」方面行きに乗車し、「九大学研都市」駅下車，昭和バス「九大伊都キャンパス」行きに乗車。(※)	西鉄バス「九大伊都キャンパス」行きに乗車。(※)
実施学部・学科	博多駅から地下鉄利用の場合	博多駅からJR利用の場合
歯学部 2 病院キャンパス	「姪浜」方面乗車，「中洲川端」乗り換え「馬出九大病院前」下車 徒歩 10 分	「吉塚」駅（鹿児島本線）下車 徒歩 15 分
実施学部・学科	博多駅からバス利用の場合	天神から西鉄天神大牟田線利用の場合
芸術工学部 3 大橋キャンパス	博多駅前 A から 47 または 60 番系統乗車，「西鉄大橋駅前」下車 徒歩 5 分又は，48 番系統乗車，「塩原 4 丁目」下車 徒歩 5 分	「大橋」駅下車 徒歩 5 分
		博多駅から JR 利用の場合 「竹下」駅（鹿児島本線）下車徒歩 15 分

※伊都キャンパス内の下車バス停等詳細については受験票印刷時に通知する予定。

入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト

九州大学では、受験者に本学の学部・学科の内容や入学者選抜方法をよく知っていただくために、アドミッションセンターを中心にして、次のような入学案内や入学相談を行います。

○ 電話による入学案内・入学相談

随時行います。九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

問い合わせ先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

住 所：〒819-0395 福岡市西区元岡 744 センター 1 号館 1 階

T E L：092-802-2006, 2007

F A X：092-802-2008

E-mail：nyukikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

○ Web サイト

- | | |
|----------------|---|
| ・九州大学 Web サイト | https://www.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・共創学部 Web サイト | https://kyoso.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・文学部 Web サイト | https://www3.lit.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・歯学部 Web サイト | https://www.dent.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・工学部 Web サイト | https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・芸術工学部 Web サイト | https://www.design.kyushu-u.ac.jp/ |

令和8年度 九州大学総合型選抜、学校推薦型選抜及び国際入試実施状況

	学部・学科等	募集 人員	志願者	受験者 ※1	合 格 者					志願者 女子数	合格者 女子数	合格者 男子比 ※3	合格者 女子比 ※3	入学者
					人数	倍率 ※2	県内	県外	その他					
総合 型選 抜	共創学部	15	77	30	14	5.50	6	8	0	50	10	28.6	71.4	14
	文学部	10	15	15	10	1.50	5	5	0	10	8	20.0	80.0	10
	教育学部	7	26	16	7	3.71	4	3	0	19	6	14.3	85.7	7
	法学部	10	28	16	10	2.80	4	6	0	21	8	20.0	80.0	10
	経済学部	22	46	28	13	3.54	7	6	0	25	8	38.5	61.5	13
	理学部	34	123	112	34	3.62	9	25	0	47	12	64.7	35.3	34
	物理学科	7	21	20	7	3.00	1	6	0	5	2	71.4	28.6	7
	化学科	8	29	24	8	3.63	3	5	0	16	5	37.5	62.5	8
	地球惑星科学科	7	27	26	7	3.86	2	5	0	13	2	71.4	28.6	7
	数学科	7	23	22	7	3.29	2	5	0	1	0	100.0	0.0	7
	生物学科	5	23	20	5	4.60	1	4	0	12	3	40.0	60.0	5
	医学部・保健学科	22	78	54	18	4.33	11	7	0	68	16	11.1	88.9	18
	看護学専攻	10	50	29	10	5.00	6	4	0	47	9	10.0	90.0	10
	放射線技術科学専攻	6	21	19	6	3.50	4	2	0	14	5	16.7	83.3	6
	検査技術科学専攻	6	7	6	2	3.50	1	1	0	7	2	0.0	100.0	2
	歯学部	8	23	23	9	2.56	2	7	0	15	6	33.3	66.7	9
	工学部	47	113	87	39	2.90	17	22	0	35	11	71.8	28.2	39
	電気情報工学科	8	16	13	8	2.00	5	3	0	1	0	100.0	0.0	8
	材料工学科	3	8	7	3	2.67	1	2	0	4	2	33.3	66.7	3
	応用化学科	4	6	5	2	3.00	0	2	0	4	2	0.0	100.0	2
	化学工学科	2	7	7	2	3.50	2	0	0	4	2	0.0	100.0	2
	融合基礎工学科 物質材料コース	2	1	1	1	1.00	0	1	0	0	0	100.0	0.0	1
	融合基礎工学科 機械電気コース	2	4	4	2	2.00	1	1	0	1	0	100.0	0.0	2
	機械工学科	7	25	12	4	6.25	2	2	0	2	1	75.0	25.0	4
	量子物理工学科	2	3	3	2	1.50	2	0	0	0	0	100.0	0.0	2
	船舶海洋工学科	5	8	7	5	1.60	1	4	0	0	0	100.0	0.0	5
	地球資源システム工学科	2	1	1	0	－	0	0	0	1	0	－	－	0
	土木工学科	4	12	12	4	3.00	0	4	0	4	1	75.0	25.0	4
	建築学科	6	22	15	6	3.67	3	3	0	14	3	50.0	50.0	6
	芸術工学部・芸術工学科	55	166	141	54	3.07	29	25	0	93	31	42.6	57.4	53
	環境設計コース	7	22	21	7	3.14	5	2	0	14	4	42.9	57.1	7
	インダストリアルデザインコース	16	33	33	16	2.06	7	9	0	23	11	31.3	68.8	16
	未来構想デザインコース	5	4	4	4	1.00	3	1	0	3	3	25.0	75.0	4
	メディアデザインコース	22	72	63	22	3.27	13	9	0	43	12	45.5	54.5	21
	音響設計コース	5	35	20	5	7.00	1	4	0	10	1	80.0	20.0	5
	農学部	24	107	60	24	4.46	5	19	0	60	13	45.8	54.2	23
	小計	254	802	582	232	3.46	99	133	0	443	129	44.4	55.6	230
推薦	共創学部	15	30	30	15	2.00	5	10	0	22	12	20.0	80.0	15
	文学部	10	21	21	10	2.10	4	6	0	15	8	20.0	80.0	10
	歯学部	8	30	27	6	5.00	4	2	0	15	4	33.3	66.7	6
	芸術工学部・芸術工学科	13	43	35	13	3.31	3	10	0	29	8	38.5	61.5	13
	インダストリアルデザインコース	8	32	24	8	4.00	2	6	0	20	4	50.0	50.0	8
	未来構想デザインコース	5	11	11	5	2.20	1	4	0	9	4	20.0	80.0	5
	小計	46	124	92	44	2.82	16	28	0	81	32	27.3	72.7	44
国際	教育学部	3	5	4	0	－	－	－	－	2	－	－	－	－
	合計(総合＋推薦＋国際)	303	931	699	276	3.37	115	161	0	526	161	41.7	58.3	274

※1 受験者数は、第2次選抜の受験者である

※2 倍率については、小数点以下第3位を四捨五入

※3 合格者の男女比については、小数点以下第2位を四捨五入

添 付 書 類

次のページから以下の書類が添付してあります。

令和 9（2027）年度 九州大学学校推薦型選抜 志望理由書等記述要領

（共創学部，文学部，歯学部，工学部（融合基礎工学科物質材料コース・融合基礎工学科機械電気コース・機械工学科・量子物理工学科），芸術工学部芸術工学科（インダストリアルデザインコース・未来構想デザインコース））

- 共創学部
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 活動歴報告書（自筆）…………… 8 枚
 - 志望理由書（自筆）…………… 6 枚
 - 「活動歴報告書」添付書類に関する注意事項…………… 2 枚

- 文学部
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 志望理由書（研究計画書）（自筆）…………… 2 枚

- 歯学部
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 志望理由書（自筆）…………… 2 枚

- 工学部（融合基礎工学科物質材料コース）
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 志望理由書（自筆）…………… 2 枚

- 工学部（融合基礎工学科機械電気コース）
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 志望理由書（自筆）…………… 2 枚

- 工学部（機械工学科）
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 志望理由書（自筆）…………… 2 枚

- 工学部（量子物理工学科）
 - 推薦書（自筆または PC 等で作成）…………… 2 枚
 - 志望理由書（自筆）…………… 2 枚
 - 活動実績（自筆）…………… 1 枚

- 芸術工学部芸術工学科（インダストリアルデザインコース）

推薦書（自筆またはPC等で作成）……………	2枚
志望理由書（自筆またはPC等で作成）……………	3枚

- 芸術工学部芸術工学科（未来構想デザインコース）

推薦書（自筆またはPC等で作成）……………	2枚
作文（自筆またはPC等で作成）……………	2枚
自己活動評価書（自筆またはPC等で作成）……………	8枚

※ 本様式をダウンロードのうえ、出願期間内に必着するよう郵送してください。なお、本様式は本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」にも記載しています。

※ 必ず**令和9（2027）年度**の様式を使用してください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

※ 志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

受験番号 (注1)	
--------------	--

(令和9(2027)年度 九州大学共創学部・学校推薦型選抜志願者用)

九州大学学校推薦型選抜推薦書（学校長用）

年 月 日

九州大学総長殿

学校名

学校長名



下記の者を責任もって推薦します。

記載責任者名

志望学部・学科		共創学部・共創学科	
氏 名		高等学校等での 所属学科名	科
推 薦 理 由			

(注1) 受験番号欄は記入しないでください。

(裏面に続く)

(表面から続く)

学 業 等	
人 物	
特 記 事 項	

〈各項目の記入上の注意事項〉

- ①「推薦理由」については、本学部で推薦する理由を具体的に記入してください。
- ②「学業等」については、本学部のアドミッション・ポリシーに対応する学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- ③「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
- ④「特記事項」については、本人の生活態度、趣味、部活動、ボランティア活動、今後の指導において特に配慮を要するような点等特記すべき事項があれば記入してください。
- ⑤本推薦書の作成に当たっては、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。直接入力する場合、現在のフォームの変更(枠の幅を変える、ページ数を増やすなど)はしないでください。

活動歴報告書

2026 年 月 日記入

フリガナ	
志願者氏名	

次の項目について、志願者自身が黒のペンまたはボールペンを用いて、**自筆で**記入してください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

- ① 高等学校（中高一貫校の場合は一般の高等学校に該当する学年）の間に取り組んだ学習・研究活動（各教科での学習や総合的な学習の時間、読書、課外活動、学校行事での活動など）のうち、主なものを時間の経過に沿って記述してください。記入にあたって、活動ごとに「項目」欄に 1 から順に番号を振ってください。
- ② ①で述べた活動のうち、特に力を入れて行ったもの 2 つを取り上げ、それぞれについて (1)なぜその活動を行おうとしたのか、(2)活動の具体的内容（直面した課題に対する工夫など）、(3)得られた成果と意義について、記してください。
- ③ ①で述べた活動に関連する成果物（レポートや報告書、制作物など）、表彰、取得した資格、各種検定の成績などについて 9 件以内で列挙してください。なお、資格・成績についてはその最高の等級と得点を記載してください。

※ ①の活動は、高等学校（中高一貫校の場合は一般の高等学校に該当する学年）の間に取り組んだものとしていますが、その活動に関連する資格をそれ以前に取得している場合は、その資格については記載して構いません。（例：「漢検準一級を中学 3 年生で取得」等）

※ 添付資料には、それぞれがどの活動に関連する成果物かわかるように、①の項目欄に振った番号および氏名を、各資料の右上に記載してください。

※本ページは何も記載せずに，白紙のまま提出してください。

- ① 高等学校（中高一貫校の場合は一般の高等学校に該当する学年）の間に取り組んだ学習・研究活動（各教科での学習や総合的な学習の時間，読書，課外活動，学校行事での活動など）のうち，主なものを時間の経過に沿って記述してください。記入にあたって，活動ごとに項目欄に 1 から順に番号を振ってください。
- (a) 「項目」欄には活動ごとに時系列に沿って，1 から番号を振ってください。
- (b) 「時期」欄には活動を行った時期及び学年（西暦で〇年〇月・高校 1 年，〇年〇月～〇年〇月・高校 2～3 年など）を記入してください。
- (c) 「活動内容」欄には，活動の名称とその簡単な説明を書いてください。グループでの活動については，あなたが貢献した部分が明らかになるよう説明してください。

項目	時期	活動内容

項目	時期	活動内容

- ② ①で述べた活動のうち、特に力を入れて行ったもの2つを取り上げ、それぞれについて説明してください。
- (a)「項目」欄に①の項目欄に振ったのと同じ番号を記入してください。
- (b)「名称」欄に活動の名称や種別を記してください。
- (c)「活動の程度」欄に、1回の活動時間、週当たりの日数、どれぐらいの期間継続して活動を行ったのかなどについて書いてください。
- (d)「背景」欄になぜその活動を行おうとしたのかを記入してください。
- (e)「活動内容」欄に活動の具体的内容（課題に直面した時にどのような工夫をしたのかなど）を記してください。
- (f)「成果・意義」欄には、活動から得られた成果と意義（活動から何を学んだのかなど）について記述してください。

[illegible]

[illegible]

- ③ ①で述べた活動に関連する成果物(レポートや報告書, 制作物など), 表彰, 取得した資格, 各種検定の成績などについて 9 件以内で列挙してください。
- (a) 「時期」欄には成果物を作成または提出した時期, 表彰を受けた時期, 資格・検定などを取得・受験した時期に加えて当時の学年も記載してください(例えば西暦で, 「〇年〇月・高校 1 年」)。
- (b) 「成果物・表彰・資格・検定など」欄には成果物の名称, 表彰の名称, 資格・検定の種別がわかるように記入してください。
- (c) それぞれがどの活動に関連する成果物かわかるように, ①の項目欄に振った番号を「項目」欄に記載してください。
- (d) 成果物や表彰, 資格, 検定などを証明する資料を添付してください。また資格・検定についてはその最高の等級と得点を記載し, 証明書のコピーを添えてください。添付する際には, 添付資料に関する注意事項をよく読み, その指示に従ってください。

時期	成果物・表彰・資格・検定など	項目

志望理由書

フリガナ	
志願者氏名	

次の項目について、これまでの経験や将来展望等を踏まえ、志願者本人が自らの考えを基に**作成し、自筆で**記入してください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

1. 共創学部への入学を希望する理由を述べてください。（550 字以内）
2. 共創学部入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の指示に従い、具体的に記してください。また冒頭に、200 字以内の要約を付けてください
 - (a) その課題を着想するに至った背景（なぜその課題が重要だと考えたのか、過去の活動と関連させて記載すること。）（300 字以内）
 - (b) 課題にどのように取り組むのかについて、共創学部の特色と関連させた具体的な学習・研究内容（500 字以内）
 - (c) 予想される成果と大学卒業後、その成果をどのように活用したいかについての抱負（300 字以内）

この学校推薦型選抜では、九州大学共創学部での学修を強く志望し、合格した場合は必ず入学することが求められています。あなたは明確な入学意思を持っていますか。ある場合には、下記に**自筆で**署名してください。（摩擦等で消えるボールペンは使用できません。）

私は、九州大学共創学部での学修を強く志望し、合格した場合には、必ず入学します。

年 月 日 署名

※本ページは何も記載せずに，白紙のまま提出してください。

1. 共創学部への入学を希望する理由を述べてください。(550 字以内)

[illegible]

2. 共創学部入学後、どのような課題に取り組みたいのか、具体的に記してください。記入にあたっては、以下の諸点に留意してください。また冒頭に、200 字以内の要約を付けてください
- (a) その課題を着想するに至った背景（なぜその課題が重要だと考えたのか、過去の活動と関連させて記載すること。）
 - (b) 課題にどのように取り組むのかについて、共創学部の特色と関連させた具体的な学習・研究内容
 - (c) 予想される成果と大学卒業後、その成果をどのように活用したいかについての抱負

要約（200 字以内）

着想に至った背景（300 字以内）																			

300100200300400500

[illegible]

共創学部「活動歴報告書」添付資料に関する注意事項

「活動歴報告書」の③で記載した活動の成果物、表彰、資格、検定などに関する資料を添付する際、下記の注意事項をよく読み、その指示に従ってください。

- (1) 各資料の右上に氏名と「活動歴報告書」の③の「項目」欄に記入した番号を必ず記載してください。
- (2) 資料は全体を通して 30 ページ以内（**全て A4 判片面印刷**）で用意してください。
- (3) 資料は「項目」欄に記入した番号順に並べて、右下に資料全体を通してのページ番号を記載し、まとめてダブルクリップで留めたうえ提出してください。（例：1つ目が5ページ、2つ目が4ページ、3つ目が5ページの資料を提出する場合には、最初のページから通して1～14のページ番号が振られることになります。）
- (4) **資料は返却しません**。賞状や証明書、資格認定書、ノートなど、今後にも必要なものを資料とする場合は、現物ではなく必ずコピーを提出してください。
- (5) 資料を準備する際には、次の点に留意してください。
 - 資料は、必ず A4 版 で作成し、片面印刷 としてください。（縦向き・横向きの資料が混在しても構いません。この場合には、横向き資料の上部が左側になるように縦置きにし、右上に氏名・項目番号、右下にページ番号を記載してください。）
 - 資料（特にパワーポイント等のプレゼンテーション用資料など）は、文字が読める大きさであれば、2 in1 や 4 in1 で印刷しても構いません。
 - 資料毎にクリップ留めやホッチキス留めはしないでください。また、インデックス等を付けることもしないでください。
 - 資料に付箋を貼り付けしないでください。
 - 本や雑誌などに記載された自分の文章や記事を資料とする場合には、表紙、目次、奥付など、記載された箇所と出典（書名、著者名、発行年月日、発行所など）がわかる部分と自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。
 - あなたを含む複数の人間による共同研究や団体活動の成果などを資料として添付する場合、あなたの担当箇所、役割・分担がわかるような説明を添えて、提出してください。
 - A4 判でコピーできない作品などを資料とする場合は、作品の実物ではなく写真と文書による説明（内容、作成年月日など）をつけて提出してください。写真は A4 判の白紙に張り付けたものをコピーして提出してください。（原本の提出は不要。）
 - プレゼンテーションやパフォーマンスなどを資料とする場合、当日の写真やプログラム、新聞記事、主催者や学校の先生が作成した証明書など、裏付けとなる資料とともに、プレゼンテーションやパフォーマンスの内容と行った年月日を記した文書を提出してください。

「活動歴報告書」に添付する資料の例としては、次のようなものが考えられます。ただし、これらに限定するものではありません。なお、添付資料の数量は評価の対象となりません。活動との関連が明確となるよう、資料は厳選して添付してください。

- ・ 各教科で執筆したレポート、論文など
- ・ 総合的な学習の時間、課題研究、SSH・SGHなどで探究・研究した成果をまとめたレポート、ポスター、論文、パワーポイント（印刷したもの）など
- ・ 読書を踏まえた小論文、書評など
- ・ 自分が作成した作品（写真、映画、舞台演劇、芸術作品など）やそれに関する解説
- ・ 自分が執筆した小説、シナリオ、エッセイなど
- ・ 課外活動、学校行事・生徒会での活動、ボランティア活動、文化・芸術・スポーツ活動、留学・国際交流などで取り組んだ活動に関する記録（ノートなど）、あなたの活動について関係者から寄せられたメッセージなど
- ・ 雑誌や新聞に記載された記事など
- ・ 各教科にかかわる大会、コンテスト、コンクール、国際科学オリンピックなどの成績を証明するもの（表彰状のコピーなど）
例：教育委員会賞、総合文化祭優秀賞、高校生論文コンテスト、英語スピーチコンテスト、高校生ディベート大会、模擬国連、国際科学オリンピック、科学の甲子園、日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、ビジネスアイデアコンテスト、高校生映画コンクール、全国高等学校小倉百人一首かるた選手権、全国高等学校クイズ選手権など
- ・ 英検、TOEFL、IELTS、そのほかの外国語の検定、能力試験（自宅で受験するタイプの検定、能力試験の提出は認めません。また、IELTSのOne Skill Retakeの提出は認めません。）
- ・ 各種の技能や知識などの検定や資格、段位
- ・ 国際バカロレア（資格証書、最終試験成績証明書）

※上記の指示に従っていない資料を提出した場合には、当該資料を審査対象としない場合がありますので、注意してください。

※提出後の資料等に関する問い合わせには一切応じません。この注意事項をよく読んで提出してください。

受験番号 (注1)	
--------------	--

(文学部・学校推薦型選抜志願者用)

九州大学学校推薦型選抜推薦書（学校長用）

年 月 日

九 州 大 学 総 長 殿

学校名

学校長名



下記の者を責任をもって推薦します。

記載責任者名

志望学部・学科	文学部・人文学科		
氏 名		高等学校等での 所属学科名	科
推 薦 理 由			

(注) 1 受験番号欄は記入しないでください。

(表面から続く)

学 業 等	
人 物	
特 記 事 項	

〈各項目の記入上の注意事項〉

- ①「推薦理由」については、本学部で推薦する理由を具体的に記入してください。
- ②「学業等」については、本学部のアドミッション・ポリシーに対応する学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- ③「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
- ④「特記事項」については、本人の生活態度、趣味、部活動、ボランティア活動、その他今後の指導において特に配慮を要するような特記すべき事項があれば記入してください。
- ⑤本推薦書の作成に当たっては、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。直接入力する場合、現在のフォームの変更(枠の幅を変える、ページ数を増やすなど)はしないでください。

令和9（2027）年度 九州大学文学部

学校推薦型選抜

志望理由書（研究計画書）

2026 年 月 日記入

フリガナ

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

九州大学文学部では人文学の研究に情熱を持ち、真理への探究心に溢れた人材を求めています。
学校推薦型選抜では、大学院進学を見据えて文学部で学ぶ強い志を持つ者を対象としています。
志願者は、すでに自主的に或る程度の研究的行為を始めており、それによって自信を得ていることを示す必要
があります。

以下の志望理由書では、将来の学びへの意欲とともに、これまでの自身の取り組みや活動状況などを記してください。また、それらの根拠となる成果がある場合は、併せて示してください。

日本語により、志願者自身が自筆で記入してください。(黒のペンまたはボールペンを使用することとし、摩擦などで消えるボールペンの使用は不可とします。)

[illegible]

(2枚中2枚目)

〔文学部〕

受験番号 (注1)	
--------------	--

(歯学部・学校推薦型選抜志願者用)

九州大学学校推薦型選抜推薦書（学校長用）

年 月 日

九 州 大 学 総 長 殿

学校名

学校長名



下記の者を責任もって推薦します。

記載責任者名

志望学部・学科	歯学部・歯学科		
氏 名		高等学校等での 所属学科名	科
推 薦 理 由			

(注) 1 受験番号欄は記入しないでください。

(表面から続く)

学 業 等	
人 物	
特 記 事 項	

〈各項目の記入上の注意事項〉

- ①「推薦理由」については、本学部で推薦する理由を具体的に記入してください。
- ②「学業等」については、本学部のアドミッション・ポリシーに対応する学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- ③「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
- ④「特記事項」については、本人の生活態度、趣味、部活動、ボランティア活動、その他今後の指導において特に配慮を要するような特記すべき事項があれば記入してください。
- ⑤本推薦書の作成に当たっては、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。直接入力する場合、現在のフォームの変更(枠の幅を変える、ページ数を増やすなど)はしないでください。

令和 9（2027）年度 九州大学歯学部
学校推薦型選抜

志 望 理 由 書

2026 年 月 日記入
フリガナ
志願者氏名
(西 暦) 年 月 日生

1. あなたが九州大学歯学部を志願する理由について述べてください。
(本学部の学校推薦型選抜のアドミッションポリシーに照らして，自己の意欲， 適性並びに将来の抱負などについて具体的に述べてください。)

① 勉学に対する自己評価

[illegible]

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines, similar to notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

(2枚中2枚目)

[歯学部]

受験番号 (注1)	
--------------	--

(工学部・学校推薦型選抜志願者用)

九州大学学校推薦型選抜推薦書（学校長用）

年 月 日

九 州 大 学 総 長 殿

学校名

学校長名



下記の者を責任もって推薦します。

記載責任者名

志望学部・学科・ コース	工学部・ 学科・ コース		
氏 名		高等学校等での 所属学科名	科
推 薦 理 由			

(注) 1 受験番号欄は記入しないでください。

(表面から続く)

学 業 等	
人 物	
特 記 事 項	

〈各項目の記入上の注意事項〉

- ①「推薦理由」については、本学部で推薦する理由を具体的に記入してください。
- ②「学業等」については、本学部のアドミッション・ポリシーに対応する学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- ③「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
- ④「特記事項」については、本人の生活態度、趣味、部活動、ボランティア活動、その他今後の指導において特に配慮を要するような特記すべき事項があれば記入してください。
- ⑤本推薦書の作成に当たっては、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。直接入力する場合、現在のフォームの変更(枠の幅を変える、ページ数を増やすなど)はしないでください。

学校推薦型選抜

工学部 融合基礎工学科
物質材料コース

志願者氏名

1. 工学部融合基礎工学科物質材料コースに入学を希望する理由を記載してください。(350 字以内)

2. これまでの勉学に関する自己評価について記載してください。(250 字以内)

(2 枚中1枚目)

3. 工学の学びを活かしてあなたが目指したい将来像を記載してください。(350 字以内)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

4. 3に記載した「あなたの将来像」を実現させるために、これまでに努力してきたことを述べてください。(350字以内)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

学校推薦型選抜

工学部 融合基礎工学科
機械電気コース

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 工学部融合基礎工学科機械電気コースに入学を希望する理由を記載してください。(350 字以内)

2. これまでの勉学に関する自己評価について記載してください。(250 字以内)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

[工学部融合基礎工学科機械電気コース]

(2 枚中1枚目)

3. 工学の学びを活かしてあなたが目指したい将来像を記載してください。(350字以内)

[illegible]

4. 3に記載した「あなたの将来像」を実現させるために、これまでに努力してきたことを述べてください。(350字以内)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

学校推薦型選抜（女子枠）

志望学科：機械工学科

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 機械工学科に入学を希望する理由について記載してください。(400字以内)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

2. これまでの機械との関わりや、機械に関して持つイメージについて記載してください。(400字以内)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(2 枚中1枚目)

[工学部機械工学科]

3. これまでの生活で特に力を入れて取り組んできたこと（勉強や部活動等）と，それに対する自己評価について記載してください。（400 字以内）

学校推薦型選抜（女子枠）

志望理由書

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

○物理・化学・数学等に対する興味と量子物理工学科を志望する理由、将来の夢や進路に対する考えについて記載してください。

[illegible]

(2枚中1枚目)

[工学部量子物理工学科]

[illegible]

(2 枚中2枚目)

[工学部量子物理工学科]

活 動 実 績

志望学科：量子物理工学科

2026 年 月 日記入

ふりがな
志願者氏名
(西 暦) 年 月 日生

○物理，化学，数学等の科学技術に関連する活動実績（研究発表や受賞・表彰等）があれば記載してください。また，その実績を証明する資料のコピー等を添えてください。

Blank area for activity record with horizontal lines.

受験番号 (注1)	
--------------	--

(芸術工学部・学校推薦型選抜志願者用)

九州大学学校推薦型選抜推薦書（学校長用）

年 月 日

九 州 大 学 総 長 殿

学校名

学校長名



下記の者を責任もって推薦します。

記載責任者名

志望学部・学科・ コース	芸術工学部・芸術工学科・		
氏 名		高等学校等での 所属学科名	科
推 薦 理 由			

(注) 1 受験番号欄は記入しないでください。

(表面から続く)

学 業 等	
人 物	
特 記 事 項	

〈各項目の記入上の注意事項〉

- ①「推薦理由」については、本学部で推薦する理由を具体的に記入してください。
- ②「学業等」については、本学部のアドミッション・ポリシーに対応する学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- ③「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
- ④「特記事項」については、本人の生活態度、趣味、部活動、ボランティア活動、その他今後の指導において特に配慮を要するような特記すべき事項があれば記入してください。
- ⑤本推薦書の作成に当たっては、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。直接入力する場合、現在のフォームの変更(枠の幅を変える、ページ数を増やすなど)はしないでください。

令和 9（2027）年度 九州大学芸術工学部
学校推薦型選抜

志 望 理 由 書

志望コース	インダストリアルデザインコース
-------	-----------------

2026 年 月 日記入
フリガナ
志願者氏名
(西 暦) 年 月 日生

1. あなたが九州大学芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコースを志望する理由について述べてください。

鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可。本様式にならってワード等の文書作成ソフトにより作成したものでも可。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting or drawing. There are no margins, text, or other markings on the paper.

3. これまでに取得した資格、語学を含む各種検定での高得点や上級レベルの合格、高校時代の顕著な活動実績（部活動での優れた成績やコンペティションでの表彰など）のうち該当するものがあれば列挙してください。あわせて、それらを証明する書類の写しをA4サイズにて、番号を付して添付してください。写しがない場合は、「（写し無）」と記入してください。

番 号	事実が生じた 年月	実績内容

鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可。本様式にならってワード等の文書作成ソフトにより作成したものでも可。

作文

フリガナ	
志願者氏名	

2026 年 月 日記入

あなたが「未来構想デザインコースの学びを通して将来取り組みたいこと」について述べてください。

[illegible]

※志願者自身が黒のペン、ボールペンまたは鉛筆を用いて、自筆で記入するか、電子ファイルに直接入力してください。

学校推薦型選抜 作文

志願者氏名

[芸術工学部]

自己活動評価書

2026 年 月 日記入

フリガナ	
志願者氏名	

次のⅠ～Ⅲの項目について、次ページ以降の記入欄に記載してください。

Ⅰ．これまでに取り組んだ学習・研究・創作・その他自主的活動（5 件以内）の概要
Ⅱ．Ⅰに挙げた活動のうち、主要な活動（2 件以内）の詳しい説明
Ⅲ．Ⅰに挙げた活動の成果物等

記載にあたっては、志願者自身が黒のペン，ボールペンまたは鉛筆を用いて，自筆で記入するか，電子ファイルに直接入力してください。本様式の変更（枠の幅を変える，ページ数を増やすなど）は一切してはなりません。電子ファイルに直接入力する場合は，指定された字数を守ってください。次ページ以降の各項目の詳しい注意事項に従ってください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

志願者氏名

- I. これまでに取り組んだ学習・研究・創作・その他自主的活動（例えば，地域・社会活動，学内活動，課外活動，学外の諸活動など）のうち主な活動（5 件以内）の概要を記載してください。

以下の注意事項に従うこと。

- (a) 「項目」欄には活動ごとに時系列に沿って古い活動から順に，1 から番号を振ってください。
- (b) 「時期」欄には活動をおこなった時期（西暦で○年○月，○年○月～○年○月など）を記入してください。
- (c) 「活動内容」欄には，活動の名称とその簡単な説明を記述してください。グループでの活動については，あなたが貢献した部分が明らかになるよう説明してください。

項目	時期	活動内容

志願者氏名 _____

項目	時期	活動内容

Ⅱ. I で述べた活動のうち、特に力を入れておこなった活動を 2 つ以内でとりあげ、それぞれの活動について詳しく説明してください。

以下の注意事項に従うこと。

- (a) 「項目」欄に I の項目欄に振ったのと同じ番号を記入してください。
- (b) 「名称」欄に活動の名称や種別（学習，研究，創作，地域・社会活動，学内活動，課外活動，学外の諸活動など）を記してください。
- (c) 「活動の程度」欄に，1 回の活動時間，週当たりの日数，どれぐらいの期間継続して活動を行ったのかなどについて記載してください。
- (d) 「背景」欄になぜその活動をおこなおうとしたのかを記述してください。
- (e) 「活動内容」欄に活動の具体的内容（課題に直面した時にどのような工夫をしたのかなども含む）を記述してください。
- (f) 「成果・意義」欄には，活動から得られた成果と意義（活動から何を学んだのかなど）について記述してください。

志願者氏名 _____

活動 1

項目		名称	
活動の程度			
背景（100 字以内）			
活動内容（300 字以内）			
成果・意義（150 字以内）			

志願者氏名 _____

活動 2（なければ空欄のままでよい）

項目		名称	
活動の程度			
背景（100 字以内）			
活動内容（300 字以内）			
成果・意義（150 字以内）			

Ⅲ. I に記載した活動に関連する成果物（レポートや報告書，制作物など），表彰，取得した資格，各種検定の成績などがあれば，10 件以内で列挙してください。

以下の注意事項に従うこと。

- (a) 「時期」欄には成果物を作成または提出した時期，表彰を受けた時期，資格・検定などを取得・受験した時期などを記入してください。
- (b) 「成果物・表彰・資格・検定など」欄には成果物の名称，表彰の名称，資格・検定の種別がわかるように記入してください。
- (c) それぞれがどの活動に関連する成果物かわかるように，I の項目欄に振った番号を「項目」欄に記載してください。
- (d) 成果物や表彰，資格，検定などを証明する資料を添付してください。資格・検定についてはその最高の等級と得点を記載し，証明書のコピーを添えてください。創作活動における成果物として，創作物等のポートフォリオを添付することも可能です。添付する際には，次のことに注意してください。
 - ・ 成果物，証明書，ポートフォリオ等を添付する場合はコピーとすること。
 - ・ 各添付書類の表面または最初のページの任意の箇所に必ず氏名を記入すること
 - ・ 添付書類は原則として返却しません

志願者氏名 _____

時期	成果物・表彰・資格・検定など	項目